

MITA

International School of Science

三田国際科学学園 2026



INTERNATIONAL × SCIENCE

123年前から今に続く 時代を切り拓く教育

世界や日本が大きな変革期を迎えていた123年前、
本校の前身となる学校が誕生しました。
孔子の教えに由来する「知好楽」を教育理念として、
時代に先駆けた教育に取り組んできました。

そして、激動の時代の中で世界を舞台に活躍できる
「発想の自由人」を育てたいという思いから、
10年前に『三田国際学園』として生まれ変わりました。

変革後、自ら考え行動できる人材を育てていくために、
本校が国際教育とともに大切にしてきたものがあります。
それが、物事を論理的に考えて伝える技法「サイエンス」です。

「サイエンス」は文系・理系や国境の壁も
軽々と越えていく力があります。
誰もがこの技法を身につけ、
世界を捉え直していく力を育てることが、
人々がより深く世界を理解する助けとなります。

2025年、本校は『三田国際科学学園』として
新たな一歩を踏み出しました。
そこには、新しい自分を発見できる数々の挑戦や、
ともに楽しみながら励む多くの仲間たちがいます。
進化の歩みを止めることのない『三田国際科学学園』で
ともに未来を切り拓いていきましょう。



三田国際科学学園で学ぶ君たちへ

いつも心に留めてほしい大切なこと

それは“貢献すること”

Contribution〈貢献〉とは、三田国際科学学園の学びの姿勢です。
授業を聞き、ノートに書き写して覚え、
先生が求めているであろう予定調和的な答えにたどり着くこと
だけでは〈貢献〉ではありません。
自分自身で考え、自分の意見を表明することこそ、
クラス全体の学びに貢献できるという考え方です。

誰かの頭の中にアイデアがひらめくと、誰かが声を発すると、
その場所が鮮やかに色づき、息吹が生まれます。

自分を取り巻く世界がきらきらと輝きを増していくような
この体験によって、生徒は、与えられるばかりではなく、
誰かを喜ばせることができる、誰かの思いを受け取ることが
できる、これまで知らなかった自分自身と出会うのです。

〈貢献〉によって醸成される学園の文化は、豊かな水をたたえる
大地のように、生徒のあふれるエネルギーを受け止め、
世界へと羽ばたいていくための力をぐんぐん伸ばしていきます。



Welcome to MITA

International School of Science

INDEX

05	教育理念
07	サイエンス教育
15	国際教育
21	6年間のロードマップ
22	インターナショナルサイエンスクラス(中学)・コース(高校)
26	メディカルサイエンステクノロジークラス(中学)・コース(高校)
30	インターナショナルクラス(中学)・コース(高校)
37	キャリア教育
39	学習サポート
41	進路実績
43	課外活動
45	年間行事
47	施設・環境
49	学園長からのメッセージ
50	沿革

これからの時代を生きる 生徒たちのためにできること

時代が大きく変わっても、いつどこにいても活躍できる人って、どんな人だろう。

本校では活躍できる人物に共通する資質を追究し、自分の可能性を広げられるよう、「世界標準の教育」を実践しています。

学園で過ごす日々は、発見と驚きの連続。きっと、新たな世界に目を開かれる瞬間に出会えます。

既存概念にとらわれず、考え、行動する「発想の自由人」として、世界に大きく羽ばたくことを願っています。

6年間で培われる 12のコンピテンシー

三田国際科学学園では、変化し続ける世界で求められる「12のコンピテンシー（能力・行動特性）」の育成を教育目標に掲げています。授業では、コンピテンシーを各単元の到達目標や評価基準に反映させ、学校行事や部活動においても、目標達成に必要な要素として位置づけています。それぞれの活動において必要なコンピテンシーを明示することで、生徒自身が意識を持って取り組めるよう工夫されています。こうした学びを通じて、生徒たちは着実にコンピテンシーを身につけていきます。

創造性
Creativity

責任感
Responsibility

社会参画
Public Participation

リーダーシップ
Leadership

率先
Initiative

探究心
Investigation

共創
Co-Creation

生産性
Productivity

コミュニケーション
Communication

問題解決能力
Solving Ability

革新性
Innovativeness

異文化理解
Intercultural Understanding

「MITAの学び」と切り離せない 3つのキーワード

THINK & ACT

考え行動することを繰り返し
より良い世界へ少しずつ前進する

本校のすべての学びと活動の中心にあるのが“THINK & ACT”です。“THINK”は習得した知識をもとに考える力。自分を取り巻く「なぜ？」に、根拠をもって答えるための深い思考力を重視しています。そして、考えたことを行動に移す“ACT”によって、初めて解決のための実践とさらなる課題の発見へとつながっていきます。“THINK & ACT”の繰り返し成が成長や豊かな人生を創造すると考えています。

INTERNATIONAL

多様性に満ちた環境で育む
豊かな国際感覚

グローバル化や多様化が進む現代では、開かれた価値観を持ち、違いを認め合うことが、何よりも大切です。異なるバックグラウンドを持つ生徒や教員がいる環境の中で、自分とは違う考え方をする人々と接し、ともに一つのを創り上げるなかで、豊かな国際感覚を育みます。高校卒業後の選択肢として、誰もが海外大学を身近に考えられるよう、教育活動を展開しています。

SCIENCE

世界を知る喜びがある
視る眼を養い深く思考する

自分自身を取り巻く不思議に気づき、言語化し問いを立てたとき、世界はより豊かなものであることを知ります。私たちは、その問いから仮説を立て思考することで「科学的に考えること」の入り口に立つのです。サイエンスという方法論を身につけることで「当たり前」ととらわれない自由な発想と深い思考を可能にします。楽しみながら好奇心を刺激する学びが、今後の変化する世界でより良く生きていく力を育みます。

Special Interview 1

MITA × SCIENCE



教頭・MST部長

辻 敏之

博士（工学）取得後、名古屋大学・東京大学などで研究に従事。専門は生物物理学・バイオインフォマティクス。2016年4月より三田国際学園中学校・高等学校（現 三田国際科学学園中学校・高等学校）に勤務。メディカルサイエンステクノロジーコースの立ち上げと運営をはじめ、サイエンス教育を推進。2022年度より教頭を務める。

中学1期生（2015年入学）

塩谷 明日香

三田国際学園中学校1期生。インターナショナルクラス入学後、高校はメディカルサイエンステクノロジーコースに進学。在学時に風力発電の垂直軸型風車の挙動を研究し、「Global Link Singapore 2019」にて「Futuristic Award」を受賞。慶應義塾大学環境情報学部卒業後、現在は東京大学大学院学際情報学府先端表現情報学コースに在籍。

ものづくりを通じて問いを明らかにする

中学1期生へのインタビューを通して、三田国際の10年の歩みを振り返る対談企画です。
Science編では、在学時に研究に目覚め、今も先端分野で研究を続ける塩谷明日香さんへのインタビューをお届けします。

ものづくりの探究が未来につながる

辻 振り返ってみて、メディカルサイエンステクノロジーコース（以下MST）はどうだった？高校のときに経験しておいて良かったことはある？

塩谷 当時は意識していませんでしたが、今思えば、テーマを考えて仮説を立て、実験してデータをまとめ、発表するという一連の流れは、大学の研究そのものでした。毎週行う検討会で先生や仲間と議論しながら研究を進めていった経験も、大学でとても役立ちました。

辻 MSTで学んだ研究プロセスが大学での研究に活かしたんだね。

塩谷 はい。MST時代にラボにこもって研究していたので、その習慣が身につけていて、今も「知りたい」と思ったら衝動的に手を動かしてるとんです（笑）。ものづくりを通じて新しい発見をする面白さを学べたのはMSTのおかげですね。

辻 大学ではどんな研究をしているの？

塩谷 3Dプリンターを使って、柔らかい素材の変形をセンシング（感知）する研究をしています。色々な工夫をすることで、元の素材に新しい特性を持たせられるのが

面白いです。

辻 材料の性質を活かして新しい機能を生み出すわけだね。塩谷さんは在学中から興味を持ったら何でも自分ですぐに試していたイメージがあったな。今は具体的にどんなものを作っているの？

塩谷 研究室が多分野にまたがっていたので、大学でも様々な分野に触れることができました。特にデジタルファブリケーション（デジタル技術を活用したものづくり）が面白かったですね。最近では、病院を視察して手足が動かかせない患者さんのために「頭で押せるナースコール」を作りました。実証実験も行い、頭の動きで看護師さんに通知を送るデバイスを開発しました。

辻 興味を持った問いを突き詰めていくことが、世界に貢献する技術につながっているんだよね。

目指す未来

——3Dプリンターが当たり前の世界へ

辻 進学する大学院についても教えてくれる？

塩谷 材料の特性を動的に変化させることで、新しい体験をデザインする研究室で学

びます。私は密度の変化が見える構造を作り、力を加えられたときに検知できる仕組みを研究しています。

辻 材料そのものにインタラクティブな特性を持たせる研究なんだね。将来の夢や目標はある？

塩谷 紙のプリンターのように、3Dプリンターがもっと身近に使える未来を実現することです。少しの工夫で、誰でも形をカスタマイズし、自分の用途に合ったものを作る世界を目指しています。中学時代に持った夢と本質的には変わってないですね。今は、ものづくりを通して問いを明らかにすることに心がかります。

問いから始まるものが科学

辻 塩谷さんにとって「科学」とは？

塩谷 「問いから始まるもの」ですかね。3Dプリンターを使うだけとかではなく、何を知りたいのかという問いがあることが大事だと思います。

辻 確かに、問いを持つことが科学の本質だね。校名が「三田国際科学学園」に変わったけど、どう感じる？

塩谷 私は中学でインターナショナルクラ

ス、高校では新設されたMSTに進学し、両方の良さを経験しました。校名変更は2つの要素がより明確になった感じがして納得できます。

辻 今後、MSTに期待することはある？

塩谷 私が在籍していた頃はラボに3Dプリンターなどはなかったですが、今は設備が充実しているので、ものづくりの幅が広がっていいなと思います。

辻 では、在校生や未来の入学生にメッセージをどうぞ。

塩谷 三田は、自分の考えを話せば先生方が一緒に考えてくれるし、それを実現できる環境があります。興味をどんどん深められる場所なので、面白いことに出会えるはずですよ。

辻 三田を一言で表すと？

塩谷 「芝生」ですね。最初は何も無いように見えても、土には栄養があり、どんどん成長できる場所です。

辻 メタファーで来たね（笑）。ありがとうございました。

塩谷 ありがとうございます（笑）。

SCIENCE EDUCATION

サイエンス教育

VISION | 世界を深く理解し 学び続ける技法

なぜだろう、どうしてだろう…？ 目の前にある不思議に気づいたとき、それを言語化し理解を深めていく技法がサイエンスです。文系・理系という教科の枠をはるかに飛び越え、論理的に考える能力や、ひらめきを生み出す方法は誰もが身につけることができます。本校では、入学1年目からあらゆるプログラムが科学的アプローチサイクルを軸に展開していきます。その中で様々な社会課題に立ち向かえる力を育てます。

「問い」を立てる技術 思考と行動のサイクルを繰り返す

Questioning Skills

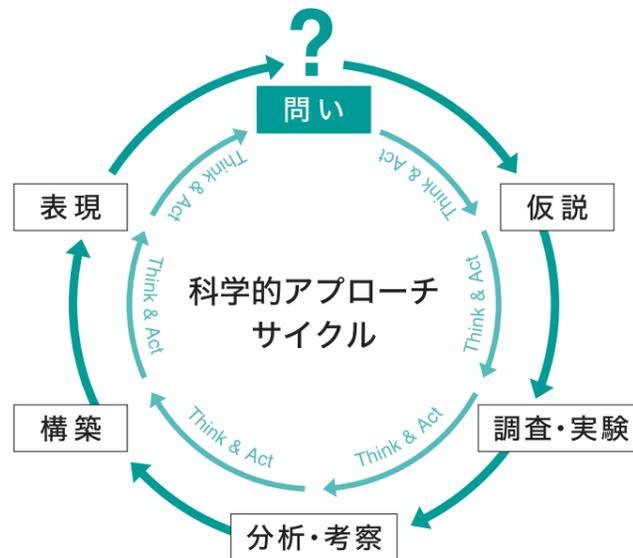
日常の気づきから問いを立てる

日常の中で出会う感動や小さな気づきを言語化することで、誰もが「問い」を立てることができます。問いを立てる技術や、問いを磨く技術を学ぶことで、より良い「問い」を設定する力を身につけていきます。

Scientific Method Cycle

課題解決のサイクルを理解し実践する

本校では、全教科において科学的アプローチサイクルを取り入れ、論理的思考力や課題発見力の育成を重視しています。生徒は「問い」を立て、仮説を形成し、その検証方法を考えます。既存の情報にとどまらず、アンケート調査や実験を通じて客観的なデータを収集・分析し、得られた結果から意見を構築し、他者に表現します。さらに、他者からのフィードバックや自身の振り返りによって、新たな視点から問いを生み出します。この一連のプロセスを通じて、深い思考力や問題解決能力を養い、社会の諸問題を科学的視点で解決していく力を培います。



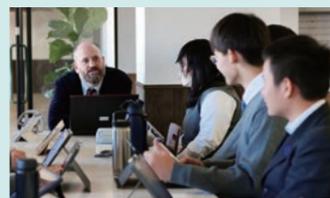
6年間のサイエンスプログラム

クラスやコースの特徴に応じてプログラムを用意しています



中学1年生

サイエンスリテラシー
科学的な技法の基礎を学ぶ



中学2～3年生

ゼミナール
興味のある分野で探究を深める



高校

プロジェクト・研究活動
中学での学びを発展させる



サイエンスリテラシー

中1全クラス

6年間の基礎となるサイエンスの技法を学ぶ

データの読み解き方や表現方法、AIとの付き合い方や活かし方を学び、「問い」を深める力を身につけます。

1年間の取り組み例 *2024年度

1学期 | 出会い、気づく

- サイエンスリテラシーとは？
- 問いを立てる
- 情報を疑う
- 研究を分解する

2学期 | 深め、実践する

- プレゼンを科学する
 - データリテラシー
- 夏季・冬季休暇を活用した
サイクルの実践

3学期 | つなげる

- 研究を科学する
- AIリテラシー
- ゼミ・研究に向かって

授業例

問いを立てるところからスタートする

登校中の風景や教室内という限られた環境で「問い」や「仮説」を立てる練習を行います。科学的アプローチサイクルが書かれたシートを使って仮説を検証していきます。仮説やプロセスをクラスで発表し共有することで、他者の視点を得て身近な世界を新たな視点から捉え直すことができます。

生徒が考えた問いの例

- 犬を飼うと癒されるのはなぜ？
- なぜ最近街でスズメを見かけないのか など



学習、指導、学校環境の継続的なイノベーションに取り組む学校であることが、Appleによって認定されました

自由な発想をかたちにするICT

本校のICT教育のスローガンは「BUILD＝築き上げる、形成する、将来を描く」。生徒は、1人1台用意されたタブレット端末またはノートパソコンを、実験の記録や分析、プレゼン資料や映像の作成、プログラミングなど、様々な場面で活用しています。ICTは、自由な発想をかたちにしていくパートナーです。本校の取り組みが認められ、2018年より「Apple Distinguished School」に認定されています。

中学 あなたはどんな研究やプロジェクトに挑戦しますか？



ゼミナール 中2～3

自分の興味を深め
研究やアクションに挑戦する

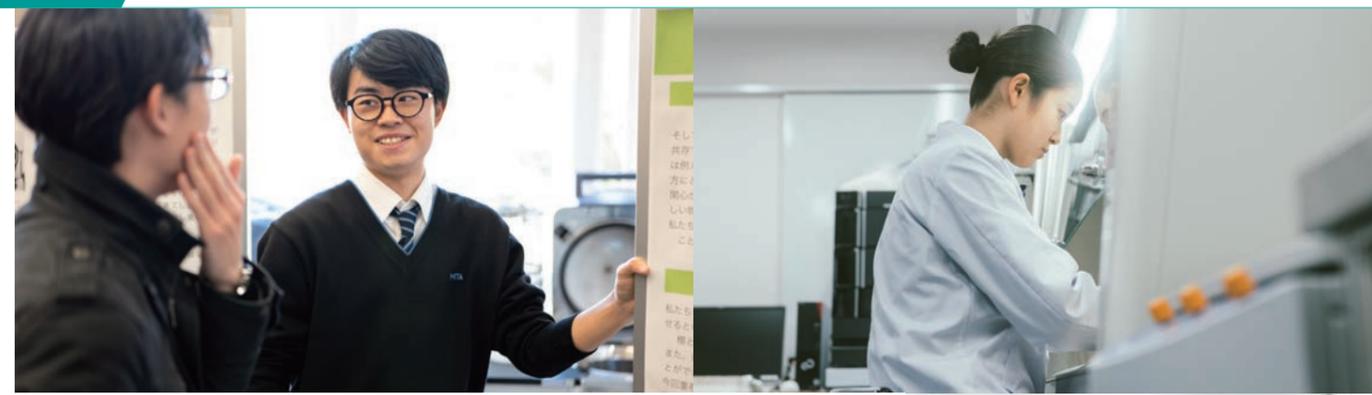
中学1年生で取り組んだサイエンスリテラシーを実践する場として、中学2年生から3年生ではゼミナールが設けられています。主体的に自分の興味や好奇心に向き合い、計画を立て探究活動に取り組みます。中学校の集大成として卒業論文などの最終成果物を提出します。言語化や具体化の力が身につくだけでなく、目標達成に向けて取り組む力が育まれます。



ゼミの特色

- ISC 基礎ゼミナール** → p.23へ
社会課題解決、芸術、経営、情報科学など多様な分野からゼミ選択が可能です。
- MSTC 基礎研究α** → p.27へ
理系・情報分野に特化して研究の基礎を学び、研究者への第一歩を踏み出します。
- IC Academic Seminar** → p.32、p.33へ
英語力に応じたグループごとに All English のゼミが設置されています。

高校 自分の問いを深く広く発展させ より世界とつながる



コース特性に合わせたサイエンスプログラム

- ISC Liberal Arts** → 自身の興味・関心からテーマを設定し、「問い」を原動力に社会へ働きかける PBL 形式の授業です。
- MSTC 基礎研究β** → 「自分だけの研究を持つ」をキーワードに、より専門性の高い研究を行い、学会などで発表します。
- IC DDP / AP** → 海外のアカデミックなプログラムで、英語で考え、論述する力を育みます。



Liberal Arts | リベラルアーツ 高校ISC

高校ISCの1年生から2年生にかけて取り組む「Liberal Arts」は、社会と接続しながら自分の興味や関心をさらに深める授業です。自分たちで計画を立て具体的な行動を起こすことで、課題を発見し、解決策を考え、実行する力が育まれ、主体的に学び続ける力が身につきます。

プロジェクト例

- 医療** → なくそう！子どもの薬事故
- 健康** → 理想の体って本当に健康？～女子高生の心と体をHAPPYに～
- 生物** → いきものがかり (DIY博物館)
- 文化** → 教育機関でできる日本の伝統文化を体験するイベントの提案

Liberal Arts Interview

テーマ：結びプロジェクト ～1000年後の未来に神社をつなげる～

早稲田大学 文化構想学部 (JCUIP: 国際日本文化論プログラム) | T・Hさん (2025年3月卒業)



*表彰実績

- 全国高校生 MY PROJECT AWARD 2023 地域 Summit 特別賞
- 自由すぎる研究® EXPO 2024 KAGA賞、式根島観光協会「みんなで島づくり賞」、緑の下のまちづくり賞

- Q1. このテーマを選んだ理由は何ですか？**
幼少期にカナダに住んでいたため、帰国したときに古い神社が街の中にあることにすごく感動して、この文化を守りたいと思ったことがきっかけです。調べていくと、後継者が少ないという情報を知って、もっと私たちの年代が神社の素晴らしさを発信していくべきだと強く思いました。
- Q2. 具体的にはどんな活動をしていますか？**
実際に神社を訪れて取材した内容を、漫画や写真を交えて紹介する冊子を作り、様々な場所で発表しました。
- Q3. どのようなステップで活動を進めましたか？**
先生方からアドバイスをもらい、神社の方へのインタビューや実際に巫女さんの体験もさせていただきました。そういった体験を本にまとめて国内外に発信し、コンテスト*にもチャレンジしました。
- Q4. 難しかったことや失敗したことはありますか？**
英語でも冊子を作成しているのですが、「神」という言葉一つを英訳するだけでもすごく大変でした。どうしたら読みやすくなるのか、正しく伝わるのかというのを、今でも試行錯誤しながら取り組んでいます。
- Q5. これから Liberal Arts に取り組む人にアドバイスはありますか？**
先生から勧められたものに片端から取り組んでみるなど、まずは色々なことに興味を持って行動してほしいと思います。そこから本当に探究したいことなどが見えてくると思います。そして私のように、この取り組みが大学受験に活かされることもあると思うので、ぜひ全力で取り組んでほしいと思います。

「経営実践講座」ゼミに所属

コラボ商品開発で商店街を盛り上げる！

高校1年 | U・Rさん



Q1. 経営実践講座ゼミではどんなことに取り組みましたか？

私たちのゼミのモットーは、「オリジナルな社会貢献で笑顔と幸せを届ける」です。ここ数年は、用賀商店街を盛り上げていくことを目標に商品開発を行っています。まず色々なお店の方々にヒアリングを行いました。そして、処分に困った備蓄用のアルファ米を使ったコラボ商品を開発するグループと、スイーツでお店とコラボするグループに分かれて学園祭でオリジナル商品を販売しました。すべて完売し、大変好評でした！

Q2. 1年次で学んだサイエンスリテラシーのどんな部分が活かされましたか？

データリテラシーがとても役立ちました。昨年の販売データを分析したことが、お客さんの来店す

る時間帯や販売個数などの予測につながったと思いますね。それを踏まえて仕入れや準備する個数を調整しました。どちらも完売したので、良い分析だったのかなと思います。

Q3. ゼミで一番成長した部分はどこですか？

団結力やコミュニケーション能力かなと思います。自分たちで掘り下げて一から作り上げていく過程を学ぶことができました。中2の最初は本当に内向的で、意見を言えるタイプではなかったんです。でもメンバーが明るく、自分が先輩となって引っ張る立場にもなったことで、アポをとったり、話し合いもできるようになったと思います。また、みんなで作り上げていくうえで団結力がすごく大切だったので、そういう面で成長できたと思います。

一人ひとりの探究を支える施設・設備

本校にはサイエンスラボ・カルチャーラボがそれぞれ3つあり、大学の研究室レベルの設備を整えています。本校では理科だけで週2回程度の実験が行われており、毎日毎時間どこかのクラスが実験を行っています。充実した設備を活用し、タブレット端末と連動してデータ分析をするなど観察・記録にICTを取り入れ、考察やプレゼンテーションに役立てています。



カルチャーラボ

3つのサイエンスラボにそれぞれ併設された施設で、微生物の培養などの無菌操作や、遺伝子組み換えなどの高度な実験も可能です。実験授業のほか、基礎ゼミナールや高校の研究活動でも使用します。



人工気象器

中の温度を一定に保ち、人工の光により昼夜を再現する装置。本校では、植物やミドリムシの培養に使用しています。



3Dプリンター

3次元ソフトウェアで作成されたデータをもとに、断面の層を積み重ね、立体モデルを造形する機器。工学系の研究や美術の授業などで、精密な立体模型やオブジェの制作などに活用しています。



安全キャビネット

微生物を取り扱う際、他の雑菌の混入を防ぎ、無菌状態で作業するための装置。実験者の安全を守るため、作業台の排気もフィルター滅菌されます。



リアルタイムPCR(qPCR)

生物のDNA増幅システムを利用して、狙った部分のDNAだけを増幅させるPCR法は有名です。qPCRではサンプル中のDNA量を測ることができます。

学びのかたちは1つじゃない

これからの世界を生きるうえで、「解なき問い」を自ら発見し、乗り越えていく力は不可欠です。

本校の教員も、生徒の力を最大限に伸ばす教育を目指し、

教科・学年の枠を超えて協力し合い、常に新たな教育の可能性を追求しています。

■授業例



自由に実験を考える

酸化・還元で どんな実験ができるか？

酸化・還元反応をテーマにした実験を生徒が自由に考えます。教員がサポート役になり、生徒自身が仮説をどのように検証するかを考え、能動的に課題に取り組みます。クラス内外で実験のプロセスや結果を共有することで、多角的な視点からテーマを捉える力が養われます。

科学的アプローチサイクル

生徒が考えた実験例

- 写真はどのように現像されるか
- 消臭ビーズを自作する
- 牛乳で作ったプラスチックに野菜で色付けをする

数学×AR

「空間図形」を3D空間に創り出す

本校はSTEAM教育(Science / Technology / Engineering / Arts / Mathematics)に積極的に取り組んでいます。理数教育と芸術教育を融合することで、教科の枠組みを超えた自由な発想力と、課題発見・解決力を育みます。

STEAM

[授業の流れ]

収集

空間図形について学ぶ。

分析

紙面上でARアプリを用いて空間図形を多角的に捉え検証する。

構築・表現

身の回りのものを空間図形で表現し、制作した作品をクラスで共有することで、新たに世界を捉える目が養われる。



地域のお店の社史を作ろう!

プロジェクトを通して実践的に学ぶ

国語表現の時間を使って、学校が立地する用賀の地域に貢献する目的で、用賀商店街にある商店の社史を作るプロジェクトを行います。地域の方々との交流をはかりながら、聴く力、文章にまとめる力、一冊に構成する力、お世話になった方々へ自分たちの成果物を届けることで生まれる表現への責任感を育みます。

PBL

[授業の流れ]

質問力・聴く力の習得

プロのインタビュアーから取材の心得と技術を学ぶ。

収集・行動

商店に赴き、店主の方へのインタビューや撮影を行う。

構築・表現

- 取材内容を一冊にまとめる。
- お店に社史を贈呈し地域に貢献する。



「MAISON KUROSU」
取材風景より

博士号を持つ教員たちが伴走者としてサポート

本校には博士号を持つ4名の常勤教員に加え、専門性を持ったスペシャリストたちがおり、科学的アプローチのプロフェッショナルとして、サイエンス教育をリードしています。一人ひとりの好奇心を育みながら、生徒たちが自ら科学的思考のプロセスをたどって課題を発見し、解決していくことができるよう、伴走者としての役割を務めます。



Special Interview 2

MITA × INTERNATIONAL



教頭

檀島 知哉

大学卒業後、オーストラリア・カナダ・イギリスの3か国で日本語教師として現地に勤務。帰国後は複数の進学校を経て、2014年4月より戸板中学校・女子高等学校（現 三田国際科学学園中学校・高等学校）に勤務。国際指導部長としてグローバル教育を推進し、2021年度より教頭を務める。

中学1期生（2015年入学）

館 史海

三田国際学園中学校1期生。中学・高校ともにインターナショナルクラス・コースに進学。在学中は帰国生との交流を通じて刺激を受け、英語力を磨く。イギリスのUniversity of Manchesterでマーケティングを学び、現在は国内の外資系企業で新薬の開発支援に従事。

「学ぶって、こんなに面白い」 学ぶ楽しさの実感が世界へつながる

中学1期生へのインタビューを通して、三田国際の10年の歩みを振り返る対談企画です。
International編では、当時まだ珍しかった海外大学進学を実現した館史海さんへのインタビューをお届けします。

三田で得た3つの力

檀島 三田でのどんな学びや経験が、海外で役立ちましたか？

館 大きく3つあります。1つ目は、ディベートで養った自分の意見を表現する力。2つ目は、クリエイティブな活動で身につけた自由な発想で考える力。3つ目は、勉強への苦手意識がなくなり、学ぶ楽しさを実感できたことです。

檀島 デイベートの経験について、もう少し詳しく聞かせてもらえますか？

館 三田では少人数のグループで意見を交換したり、議論のテーマそのものを決める授業があり、自然と自分の意見を伝える力が身につきました。そのおかげで、海外でも自信を持ってグループワークに参加できましたし、リーダーを任せられたときも三田での経験を思い出しながら行動できました。
檀島 確かに、三田ではディスカッションが多いですね。自然と自分の考えを表現できるようになる、まさに私たちが目指す学びのかたちですね。クリエイティブな面では、どんな活動が印象に残っていますか？

館 例えば、国語の授業で物語に基づいた動画を作成したことや、英語の授業でロールプレイを行ったことですね。自由な発想で表現してきた経験が、海外でのエッセイライティングにも活かされたと思います。

檀島 単に暗記するのではなく、考えを発信しながら学ぶプロセスが創造力を育てるのだと思います。勉強に対する意識の変化についても聞かせてもらえますか？

館 中学受験のときは「勉強はやらなければいけないもの」という感覚が強く、好きではありませんでした。でも、三田では話し合いやプレゼンテーションなどのアウトプット型の学びが多く、「勉強ってこんなに楽しいんだ」と気づけたんです。周りのレベルの高い人たちとの交流を通じて、「知ること」「つながること」の楽しさを実感できたのは大きかったですね。

世界が教室になる

檀島 マンチエスター大学にはどのような特色がありますか？

館 マンチエスター大学は多様性のある環境で、学生も教授も世界中から集まっています。

ました。異なる文化や宗教を尊重する価値観を学び、日本とは違う考え方に触れる機会が多かったですね。アウトプットの機会も非常に多かったです。約4か月かけてプレゼンの練習をしたり、授業でも先生が突然「どう思う？」と質問してくるので、その場で意見を言う力が試されました。

檀島 日本と海外では授業のインタラクティブ性が大きく違いますよね。特に印象に残っている先生はいますか？

館 経済学の先生ですね。とても陽気な方で、学生の答えが正解だったら机の上でタップダンスをするんです（笑）。まるでTEDトークのような授業で、「絶対に退屈な授業にはしない」という強い意志を感じました。

世界を知ること、未来が見えてくる

檀島 卒業後の進路について教えてください。

館 日本にある外資系企業で、新薬の開発支援を行う臨床開発の仕事に就きます。イギリスでの生活を通じて、日本の医療制度との違いに関心を持ち、調べるうちに、日

本でも重い病気で苦しむ方が多いことを知りました。そこで、自分にできることを考えた結果、医療に関わる仕事を選びました。

檀島 海外での経験から、以前は想像していなかった未来が広がったんですね。海外経験を通して可能性が無限に広がることを体現しているように思います。では、最後に海外大学を目指す後輩へのアドバイスをお願いします。

館 海外大学進学は、言語も文化も違い、知っている人もいない。完全にゼロからのスタートになります。でも、それが自分を成長させてくれるんです。自分にできること、できないことを知り、本当にやりたいことに挑戦できる環境があります。もし周囲の期待やプレッシャーを感じている人がいたら、一度リセットして海外で新たなスタートを切るのも、一つの選択肢として考えてみてほしいですね。

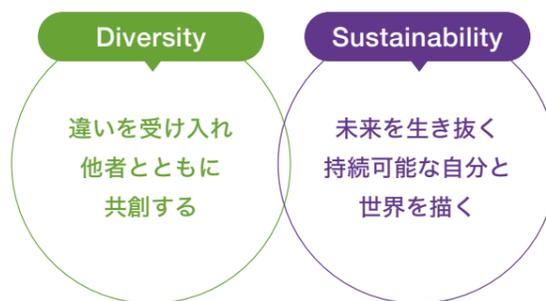
三田国際学園の中学1期生が、新社会人としての第一歩を踏み出し、あるいは新たな学びのステージへと進みました。本校も「三田国際科学学園」として、変化を恐れず、卒業生たちとともに成長し続けます。

INTERNATIONAL EDUCATION

国際教育

VISION | 「多様性」を教室へ 違いを受け入れ、ともに創る

言語、文化、生まれ育った環境、価値観…本校の教室にあふれる様々な“違い”は、まさに多様性そのもの。留学・海外研修などの多彩なプログラムも用意し、やり抜く力や折れない心、他者と共創するための豊かな国際感覚を培います。さらに、持続可能な社会を作る一員としての責任を引き受け、自分なりに貢献することも大切にしています。その可能性を限りなく広げるため、社会で「使える」英語を身につけていきます。



English Education | 英語教育

言語をもう一つ持つこと それは世界への扉を開く鍵

「使える」英語を身につける | 読む・聞く・話す・書く

Interaction

双方向のコミュニケーションな授業



ペアワークやグループワークによる協働学習

▶ 「Peer Teaching (教え合い)」を自然に行う

Autonomy

自律的な学びの姿勢



それぞれの目標に向かって自ら計画を立てる

▶ 次のステップの学びや挑戦につなげる

Authenticity

生きた英語に触れる



ITや国際生とともに学ぶ国際的な環境

▶ 多様な価値観や文化を身近に感じ、異文化理解へとつなげる
▶ 学んだ英語をすぐに使える環境により自然な発話・文法表現への理解が深まる

E-note | 自律的な学習習慣が語学力を確実に伸ばす

授業の予習・復習や文法の練習問題など、一日ごとに設定された内容に毎日取り組みます。教員もフォローアップを行い、生徒は日々英語で考え自分の言葉でまとめる習慣をつけていきます。



International Teachers

38名

本校のネイティブスピーカーの教員(IT)は、自律した思考をすること、自ら問題を解決することが奨励される環境で学んできました。その学びの経験を活かし、中学・高校すべてのクラス・コースに関わり、進路指導や受験対策、課外活動といった学校運営や教育プログラムの構築・実践において重要な役割を担っています。アクティブラーニングを中心とした学びによって批判的思考や問題解決のスキルを培っている三田生にとって、ITはロールモデル的存在になっています。

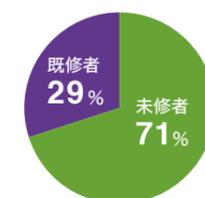
*2025年度時点

■ 数字で見る英語教育

英語学習歴に合わせた学びのかたち

英語ゼロベースからネイティブレベルまで、多様な英語学習歴の生徒が在籍しており、英語学習歴に応じたグループを設けています。

[入学時のISC英語学習歴]
(2023年度～2025年度入学生)



英語グループの詳細は p.21へ

海外大学進学という選択肢を持つ

本校では、非帰国生でも海外大学に数多く合格しています。進学時に海外大学も選択可能となる世界標準の英語教育を行っています。

[海外大学合格者数割合]
(2021年度～2023年度卒業生)



個別最適化学習で力を伸ばす

学校の学びでは多くのテーマを Team Teaching で学んでいますが、個人のレベルに合わせた学び方も大切だと考えており、様々なオンライン学習を活用しています。

[実施例] ● ELSA、DMM 英会話を生きた発声練習 ● ライティング講座 ● スタディサプリでの苦手対策

一人ひとりの目標に応じた検定サポート

個々の学習歴に応じて目標を設定し、英検や TOEFL®、IELTS™ に挑戦しながら、学習へのモチベーションを高め続けます。また、海外大学進学も視野に入れた検定サポートも充実しています。国際生は、中学2年次～高校1年次に毎年 PSAT® を受検します。TOEFL® や SAT® 対策として、International Teacher による講座やエッセイ指導も行っています。

*IELTS™ ケンブリッジ大学英語検定機構、ブリティッシュ・カウンシル、IDP Education が運営する「読む・聞く・話す・書く」の4技能の能力を測る、国際的に認知度の高い英語能力検定試験です。

*SAT® College Board が主催する、米国の大学進学希望者を対象とした共通試験です。

*上記は2025年度実施予定のプログラムであり、今後変更する可能性があります。
*プログラムによって、別途費用がかかるものもあります。

Study Abroad | 海外で学ぶ

海外研修 | 高校2年生 全員参加

高校ではコースごとに高校生活の集大成となる研修が設定されています。各国でしか体験することができないプログラムや交流を通して、文化や習慣、考え方や価値観などを学びます。実体験から新たな視点を獲得し、自身のキャリア形成へとつなげていきます。



IC インターナショナルコース

オーストラリア・パース

対象 高校インターナショナル 時期 高校2年次(約10日間)

西オーストラリア州パースにて約10日間「グローバル・シチズンシップ・プログラム」に参加します。現地企業や大学を訪問し、グローバルリーダーとして不可欠な能力についての理解を深め、スキルとして習得することを目的としています。

MSTC メディカルサイエンステクノロジーコース

シンガポール

対象 高校メディカルサイエンステクノロジー

時期 高校2年次(約6日間)

アジア最大の中高校生研究発表イベント「Global Link Singapore」にて、英語で研究発表を行います。「基礎研究β」で取り組んできた研究成果を、世界各国の学生や研究者に向けて、ポスターセッション形式で発表します。

ISC インターナショナルサイエンスコース 選択制

台湾 カンボジア フィンランド

対象 高校インターナショナルサイエンス
*高校長期留学に参加した場合は、海外研修への参加は任意となります。
時期 高校2年次(約6日間)

ISCでは多様な選択肢からフィールドを選択できます。企業での研修や現地の学生との交流、社会課題の解決などの現地でも体験できない学びを経て、グローバルな視点を加え今後の進路選択へとつなげていきます。

詳細は [p.24](#)へ

*上記は2025年度実施予定のプログラムであり、今後変更する可能性があります。研修先や研修プログラムは、海外情勢や希望者数により変更となる場合があります。

国際交流で世界とつながる

「リーダーシップ」「共創」「異文化理解」などのコンピテンシーを育てることを目的に、生徒たちがグローバルな環境で学べるよう国際交流を盛んに行っています。これまで世界各地で本校の生徒や卒業生が温かく迎えられているように、私たちも世界に貢献することを目指して、積極的に提携校との交流や留学生の受け入れを進めています。

海外交流実績(2024年度)

本校 → 海外 130名以上(留学プログラム参加者)

海外 → 本校 50名以上(アメリカ、タイ、ドイツ、フランス、台湾、インドネシアより)

✈️ 海外大学進学に向けたサポートは [p.40](#) へ

✈️ 海外大学進学者へのインタビューは [p.42](#) へ

留学 | 希望制

対象	中学		高校	
	ターム留学	長期留学	短期留学	長期留学
インターナショナルクラス・コース(IC)	●	●	●	
インターナショナルサイエンスクラス・コース(ISC)	●		●	●
メディカルサイエンステクノロジークラス・コース(MSTC)	●		●	

✈️ 中3 ターム留学

オーストラリア

対象 中学全クラス希望者

時期 中学3年次(約3か月間)

留学中の本校学費 授業料は半額、設備維持費・PTA会費は全額支払い

到着後、まずは語学学校で編入準備コースと現地生活についてのオリエンテーションを受けます。その後、現地校にて授業を受けます。中学のうちに留学を経験することで視野を広げ、英語力をさらに伸ばしていきます。

✈️ 中3 長期留学

ニュージーランド

対象 中学インターナショナル希望者

時期 中学3年次～高校1年次(約8か月間)

留学中の本校学費 授業料は半額、設備維持費・PTA会費は全額支払い

留学生が安心して暮らせる環境で、ハイレベルな教育による英語力の伸長に加え、異文化理解も深めることができます。

✈️ 高校 短期留学(スプリングキャンプ)

アメリカ・カリフォルニア

対象 高校全コース希望者

時期 高校1年次(約10日間) ※MSTCは高校2年次

留学中の本校学費 通常通り

アントレプレナー教育や様々な社会問題についてのディスカッション、フィールドワークを行います。

✈️ 高校 長期留学

アメリカ・カリフォルニア

イギリス・ヘイスティングスなど

カナダ・バンクーバーなど

対象 高校インターナショナルサイエンス希望者

時期 高校1年次～2年次(約10か月間)

留学中の本校学費 授業料は半額、設備維持費・PTA会費は全額支払い

*本校の留学プログラムにおいては、いずれも帰国後は年齢通りに進級できます。支払いは一括払いのみで、積み立てではありません。費用は選択する地域や学校、為替レートの変動により異なります。
*現地での滞在は高校長期留学のイギリスのみとなり、その他はホームステイとなります。
*現地受け入れ先の状況などにより選考を行うことがあります。
*上記は2025年度実施予定のプログラムであり、今後、時期・内容・行き先などは変更する可能性があります。

Study Abroad Experience Reports | 海外体験レポート



写真左

留学で得られたリーダーシップと自信 新たな世界で挑戦する勇気

高校3年 | Y・Aさん 高校長期留学(カナダ)に参加

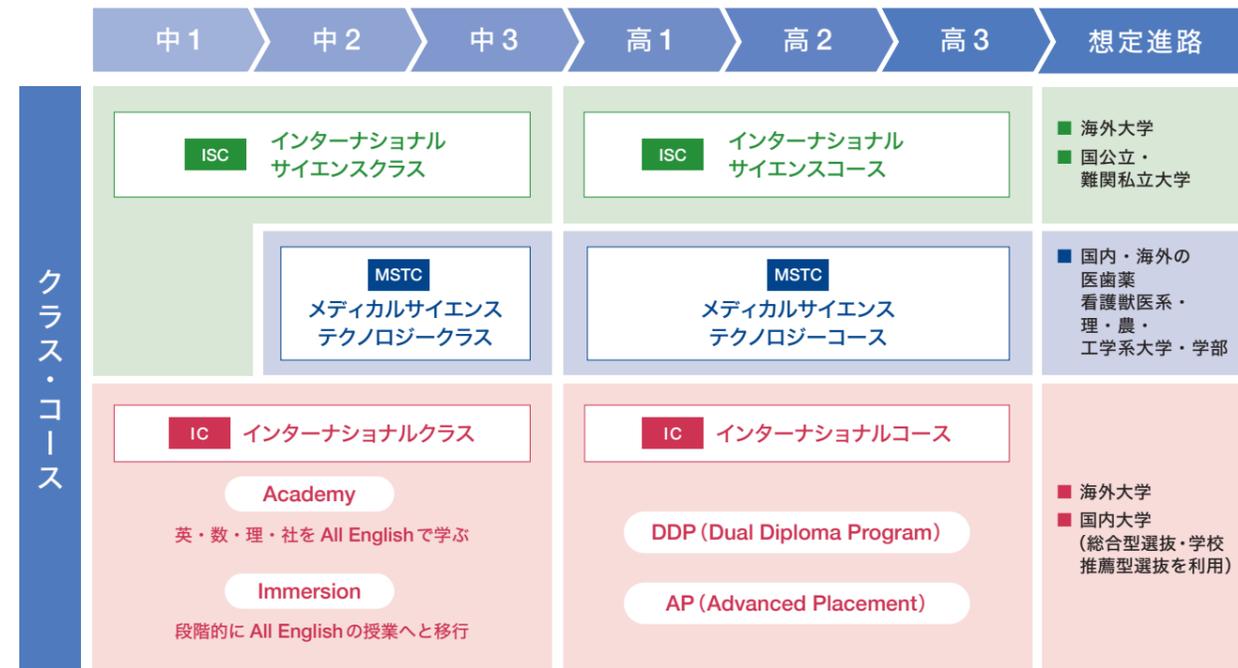
留学での最も大きな変化は、英語で話す際のつまづきがなくなったことです。得意だったリスニングに加えスピーキングも大幅に向上し、IELTSのスコアは1.5ポイント上がりました。留学で特に印象に残っていることは、学年を問わず意欲のある生徒が参加できる、学校の行事企画や運営を行うLEADERSHIP活動です。初めは毎週50人ほどが参加するミーティングで自分の意見を求められることに戸惑いましたが、経験を積み重ねて成長を実感しました。ここでの経験は、三田での有志団体の代表を務めるうえでも、とても貴重なものになりました。また留学前は勉学についていけるか不安で理系進学に迷っていましたが、今では脳科学や神経科学を学ぶため、理系の道を選び海外の大学進学を目指しています。進学先について選択する前に、留学を通じて自己理解を深め、新しい世界を知る楽しさや挑戦する勇気を学ぶことができたことを両親に感謝しています。貴重な経験を糧に、大学でも興味のある分野に全力で取り組み、自分の視野をもっと広げていきたいと考えています。

EDUCATION ROADMAP

6年間のロードマップ

社会へ そして 世界へ羽ばたくための6年間

これからの時代を生き抜くためのキーワード“THINK & ACT”“INTERNATIONAL”“SCIENCE”を軸に、中学には3クラス、高校には3コースを設置しています。生徒たちは自分の興味や強みに応じた場所で、将来の目標を実現する力を磨いていきます。



*上記は2026年度入学生用プログラムの予定であり、今後変更する可能性があります。
 *中学1年次はICとISCの2クラス編成、中学2年次以降はMSTCも加わり3クラス編成となります。
 *各クラス・コースは、6年間の学びのプログラムとして設定されていますが、高校進学時のみ、成績や学習態度などを総合的に判断して移動できる場合があります。
 *ただし、定員の状況によっては移動できない場合があります。その他の学年進級時には、中学MSTCを除き、原則コース変更をすることはできません。
 *中学2年次のMSTCへの進級については、中学入学試験方式や成績、定員などを考慮して、総合的に判断します。

■ 英語学習歴に合わせた英語グループ

英語の授業は、英語の学習歴に合わせて習熟度別に行います。クラスによって学ぶ言語に大きな違いがあります。

英語学習歴	入試形態	クラス	グループ	特徴
これから英語を本格的に学び始める	4教科入試	IC	Immersion	英・数・理・社を英語で学ぶ 中学では日本語から段階的に移行
		ISC	Standard	英語のみ日本人教員と International Teacher による チーム・ティーチング
	MST入試	MSTC		
海外経験がある 相応の英語力がある	帰国生入試 英語入試	IC	Academy	英・数・理・社を英語で学ぶ
		ISC	Advanced Intermediate	英語のみ International Teacher による All English 授業
	帰国生入試 英語入試	MSTC		

* ISC・MSTCの英語グループの Advanced・Intermediate は、入学時はアセスメントテストの結果、進級時は学年末の成績により決定します。

ISC

INTERNATIONAL SCIENCE CLASS & COURSE

インターナショナルサイエンスクラス & コース



多様な選択肢が「面白い」をかたちに

一般生と国際生がともに学ぶ多様性にあふれた教室の中で、豊富な探究機会を活かし自分の興味を広げ深めることができます。

POINT | 自分の可能性に挑戦する

- International Teacher が副担任としてホームルームや行事に関わる
- 中2からMSTCに在籍可能 詳しくは p.29 へ
- 幅広い分野から選択可能な探究プログラム
- 高校2年生で文系・理系に分かれる、選択肢の多様なクラス



中学

インターナショナルサイエンスクラス 多様な環境で共創しながら学ぶ

一般生と国際生が同じクラスで学びます。日本語と英語が飛び交う多様性に富んだ環境です。1年次はMSTの生徒とともに学びます。

高校

インターナショナルサイエンスコース 希望する進路に合わせた カリキュラム選択

1年次は主要5教科をバランス良く学びますが、2年次からは希望の進路に合わせた選択・自由科目を取り入れており、国内・海外ともに文系・理系の受験に対応しています。

中学 基礎ゼミナール

「知りたい」をもっと深める

生徒の好奇心を最大限に引き出し育むサイエンスプログラムが、中学2年次から始まる「基礎ゼミナール」です。ISCでは幅広い分野からゼミを選択することが可能です。自分の興味に基づき選んだ講座で、自ら課題を設定して調査・研究を行い、研究結果を作品やポスターにまとめて、学園祭などで発表します。中学3年次の最後には、卒業論文執筆や作品発表を行います。目標に向けて計画する力や、アカデミックライティングのスキルを身につけます。



〔開講講座例〕

※2025年度実施

グループ	講座名
言語と文学とアート	アートに・ことばを・文学する
	つながるアート
	メディア・クリエイション
個人と社会	経営実践講座
	政治研究会
	社会を読み解く10章
	心を科学する
	ファシリテーションを掘る
	歴史探究
	ボランティアはじめの一歩
	未来構想クリエイティブラボ
	学習と習慣の科学
	微生物に目を向けよう
自然科学	伝える化学
	本気で物理する
	数学オリンピックに挑戦
	暗号と数理解析
コンピュータサイエンス	暗号と数理解析
	Unityを味わう

高校 Liberal Arts

「好き」で社会とつながる

高校1～2年次に設定された「Liberal Arts」は、中学までの学びをベースにしなが、より探究的・実践的に社会接続を目指すPBL (Project Based Learning)形式の授業です。自分自身の興味・関心に基づきテーマを設定し、それに対して感じた「問い」を原動力としなが、学校にとどまらず社会に対して働きかけていきます。実社会とつながりなが、自らの価値観と行動を社会に問いかけ、変革をもたらす人材の育成を目指します。

高1～

- 中学の学びから得た、自分の中にある興味の「種」に目を向ける
- ▶ 関連する情報や知識を収集し社会的実践的な活動を実施



高2 / 2学期

- 高1の活動をより発展的にするためにモノの見方・社会のあり方などの教養を身につける
- ▶ 物事の本質を捉える力とそこに対してアプローチする行動力を育む



高2 / 3学期～

- 2年間の総括としてアカデミックな方法論に則ったレポートライティング・プレゼンテーションのスキルを身につけたうえで、考えや思いを他者に伝えていく

英語力に応じた3つの授業展開

ホームルームクラスは英語力に関係なく編成されますが、英語の授業は習熟度別に3つのクラスで展開します。英語力の向上に合わせ、ステップアップしていくことが可能です。国際生も、高い英語力を維持しながら日本語で思考し表現する力を伸ばすことができます。

	Standard	Intermediate	Advanced
対象	英語の学習歴は問いません	相応の英語学習歴のある生徒	帰国生などネイティブスピーカーレベルの英語力のある生徒
英語	日本語による授業に加え、International Teacher 主体のチーム・ティーチング	International Teacher の All English授業	International Teacher の All English授業

入学時は、IntermediateとAdvancedはアセスメントテストの結果でレベルを決定し、進級時は学年末の成績により決定します。

習熟度別授業でのステップアップケース

Standard ▶ Intermediate に選抜

中学3年 | M・Yさん



Q1. StandardグループとIntermediateグループは、どのような授業でしたか？

入学前は単語の「One」も、「オネ」と読んでいるほどの英語力でしたが、Standardグループの単語

テストで単語力が鍛えられました。また、白板の前で英語で掛け合いをするなどの実践的な授業もあったので、スピーキングの苦手意識も消えたかなと思います。Intermediateでは、最初は英語を英語で学ぶという感覚が衝撃的でしたが、クラスの子の話す生きた英語に徐々に耳が馴染んでいきまし、今は焦りよりも自分で自分に挑戦しているというマインドです。

Q2. 英語力向上のために頑張ったこと、意識したことはありますか？

少し引込み思案なのですが、わからないことは先生に聞いてみるという行動自体に意味があるのだと、このクラスで学んで思いました。正直小学生の自分からは想像できない考え方になっているなど、本当に驚いています。周りに英語が上手い人たちがいることが、刺激やモチベーションになっています。英語でコミュニケーションが取れるよう

にもっと勉強しよう自分自身に言い聞かせています。

Q3. 外部テストは、いつ頃に何を受けたか？

中1のときに準2級、中2で2級に合格しました。私は目標がないと頑張れないタイプなので英検という存在は大きかったですし、学年ごとに取得目標もあったので、そこで後押しされた節はあると思います。

Q4. 今後の目標があれば教えてください。

近い未来で言うと、3年次にターム留学があるので、そこまでは絶対に英語を駆使できるくらいのレベルになりたいです。そして、高校卒業までに、職業選択の幅を広げるために英語を完璧にできたらなと思っています。企画や経営に興味があり経営ゼミにも入っているので、将来は経営企画に関わる仕事に就きたいです。

✈ 海外研修 (長期留学参加者を除き必修)

高校2年次の海外研修において、ISCでは多様な選択肢からフィールドを選択できます。現地での学びを経てグローバルな視点に加え、今後の進路選択へとつなげていきます。



台湾

アジアトップのジェンダー平等や資源回収率を誇り、大規模なデジタル革命など優れた取り組みを数多く行う、台湾。先進的な活動を行う現地法人での研修や、現地学生との交流などを経て、文化や価値観の違い、共通点を理解しながら、今後のキャリア形成に活かします。



カンボジア

社会人フェローや大学生メンターのサポートのもと、地域の事業者や起業家が抱える経営課題からその先に存在する社会課題の解決に挑みます。生徒自身が分析から実行までを行い、現地でアクションプランを作成します。最終的には実現可能性を示しながら英語でプレゼンテーションを行います。



フィンランド

高い幸福度と経済を両立するフィンランドで、実際に働く人との交流を通してサステナブルな企業運営やウェルビーイング型経営について学びます。また、環境と持続可能な資源への取り組みを学ぶため、地質学的に世界でも稀少なナショナル・ジオパークでの水質研究活動なども行います。

*上記は2025年度実施予定のプログラムであり、今後変更する可能性があります。研修先や研修プログラムは、海外情勢や希望者数により変更となる場合があります。

Curriculum カリキュラム

中学 インターナショナルサイエンスクラス

1年				2年				3年						
国語	5	美術	1.3	国語	5	美術	1	国語	5	美術	1			
社会	3	保健体育	3	社会	3	保健体育	3	社会	4	保健体育	3			
数学	5	技術・家庭	2	数学	5	技術・家庭	2	数学	5	技術・家庭	1			
理科	4	道徳	1	理科	5	道徳	1	理科	4	道徳	1			
英語	6	総合	2.4	英語	6	総合	2	英語	6	総合	3			
音楽	1.3	特別活動	1	音楽	1	特別活動	1	音楽	1	特別活動	1			
			合計	35				合計	35				合計	35

・特別活動の時間には、年間計画に基づく各行事、各種講演会も含む。
 ・総合的な学習の時間には、宿泊行事を含む校外での社会体験、観察、実験、見学、調査なども含む。
 ・1年次の「サイエンスリテラシー」、2・3年次の「基礎ゼミナール」は総合的な学習の時間に含む。
 ※上記は2025年度入学生のカリキュラムであり、今後変更する可能性があります。
 ※メディカルサイエンステクノロジークラスへの変更に関しては、中学入学試験方式や志望理由、成績、定員数などを考慮して、総合的に判断します。

高校 インターナショナルサイエンスコース（文系/理系）

文系

1年			文系2年			文系3年					
必修	現代の国語	2	必修	古典探究	3	必修	古典探究	4			
	言語文化	3		現代文総合	3		現代文演習	3			
	歴史総合	2		地理総合	2		国語演習	2			
	数学I	3		公共	2		体育	3			
	数学A	2		数学II	4		英語コミュニケーションIII	3			
	物理基礎	2		体育	2		論理・表現III	3			
	化学基礎	2		保健	1		ホームルーム	1			
	生物基礎	2		英語コミュニケーションII	3		日本史探究α	3			
	体育	2		論理・表現II	3		世界史探究α	6**			
	保健	1		情報I	2		政治・経済	2			
	英語コミュニケーションI	3		総合的な探究の時間	1		地理演習	3			
	論理・表現I	3		ホームルーム	1		日本史演習	2*			
	家庭基礎	2		日本史探究	4		世界史演習	2			
総合的な探究の時間	2	世界史探究	1*	政治・経済演習	2						
ホームルーム	1	数学B	2	数学C	2						
選択必修	音楽I	2	化学基礎演習1		化学基礎演習2	2***					
	美術I		生物基礎演習1		生物基礎演習2						
合計			34	合計			31-34	合計			25-33

理系

1年			理系2年			理系3年					
必修	現代の国語	2	必修	現代文演習	2	必修	数学C	2			
	言語文化	3		地理総合	2		化学	4			
	歴史総合	2		公共	2		体育	3			
	数学I	3		数学II	4		英語コミュニケーションIII	3			
	数学A	2		数学B	2		論理・表現III	3			
	物理基礎	2		物理基礎	3		ホームルーム	1			
	化学基礎	2		体育	2		数学III	6			
	生物基礎	2		保健	1		数学演習α	4			
	体育	2		英語コミュニケーションII	3		物理演習	2			
	保健	1		論理・表現II	3		生物演習	4			
	英語コミュニケーションI	3		情報I	2		現代文演習	2			
	論理・表現I	3		総合的な探究の時間	1		古典演習	2			
	家庭基礎	2		ホームルーム	1		地理演習	2*			
総合的な探究の時間	2	物理	4	政治・経済	2						
ホームルーム	1	生物	2	数学演習β	2						
選択必修	音楽I	2	古典演習	2	合計			26-34			
	美術I		合計			32-34					
合計			34	合計			32-34	合計			26-34

*該当科目から1つまで選択できる。 **該当科目から1つを選択する。 ***該当科目から2つまで選択できる。

・総合的な探究の時間には、宿泊行事を含む校外での社会体験、観察、実験、見学、調査なども含む。
 ・1・2年次の「Liberal Arts」は総合的な探究の時間に含む。
 ※上記は2025年度入学生のカリキュラムであり、今後変更する可能性があります。

MSTC

MEDICAL SCIENCE TECHNOLOGY CLASS & COURSE
 メディカルサイエンステクノロジークラス & コース



研究者として 踏み出す第一歩

1年次に多様性に富んだ環境で得た刺激やサイエンスサイクルを、研究という分野で積極的に活かし、未来へとつなげます。大学並みの研究環境で、専門的な知識を持ったスタッフが研究をサポートします。

POINT | 自分だけの研究を持つ喜び

- 1 興味や好きを突き詰め、4年間研究に没頭できる環境
- 2 1年次はISCで学び、中2からスタートするクラス
- 3 国内外での研究成果を発表する機会の豊富さ
- 4 博士号を持つスタッフ・サイエンスコミュニケーターが研究をサポート



中学

メディカルサイエンステクノロジークラス
中2からMSTCがスタート

1年次にISCで学び、理数系や情報分野への意欲が旺盛な生徒は、2年次からMSTCに属します。専門性を深めた研究に挑戦し、創造的な発想を実践に活かします。

高校

メディカルサイエンステクノロジーコース
目指す進路

カリキュラムは、理系学部への進学を想定して国内・海外どちらの受験にも対応しており、希望の進路に応じて選択・自由科目を選ぶことができます。また、総合型選抜・推薦入試を視野に、研究分野のプレゼンテーションの指導も行います。

[開講講座例]

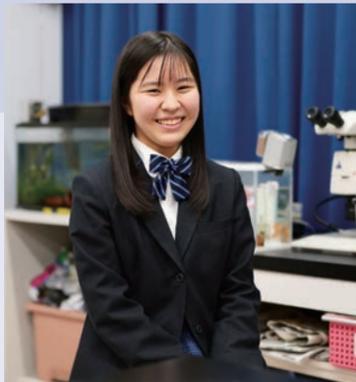
※2025年度実施

分野	講座名
生物・化学	生物と化学でセカイを視る
哲学・物理	科学を哲学する
数学	自分で創る数学
プログラミング	Tech! (プログラミング)
データサイエンス	データと遊ぼう
化学・芸術	焼き物を科学する

中学 基礎研究α

世界で最初に発見する喜び

中学1年次に「サイエンスリテラシー」で身につけた科学的アプローチを実践する場として、2年次からは「基礎研究α」が始まります。自分の興味に基づいて講座を選択し、研究課題を設定して自ら調査・研究を行い、紀要にまとめます。この研究活動は高校MSTCで行う「基礎研究β」へと発展的に引き継ぐことも想定しており、4年にわたって1つのテーマを研究することも可能です。



答えが決まっている研究に本当の面白さはない

高校 MSTC 1年 | F・Mさん

研究テーマ

メダカの体色が環境から受ける影響

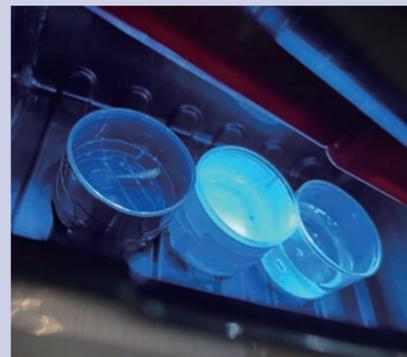
周りの色によって体の色が変わるという、メダカの体色変化の研究をしていました。一番面白かったのは、メダカの体の色がもとのものよりも濃く発色して、数値だけではなく目視で確認できたときです。逆に、目視の状態と数値で違いがあるときは理由がわからず苦労しました。先生に相談し、色を析出する範囲の問題だとわかり、そこから明度と彩度を数値化してヒートマップにまとめました。データを分析した結果、4つほど考察を出すことができました。

Q1. なぜ現在の研究テーマにしたのですか？

小学生の頃から、答えを知っている状態で行う実験は本当の面白さじゃないなと思っていて、不思議に思ったことを自分で問いにして、自分が主体となる活動をやりたいなと思っていました。まずは生物に興味があったので、手に入りやすかつ大量に実験ができそうなメダカを研究対象に選びました。そしてメダカについてネットで調べて、沢山の知識をつけました。自分が知ったことや疑問に思ったことをメモに書き出したうえで、自分が一番面白かったことを先生方に相談して、現在の研究テーマにたどり着きました。

Q2. 研究活動を通して成長したこと、今後挑戦したいことを教えてください。

一番は計画力だと思います。家でメダカを飼育していたので、家と学校でできることを自分の頭の中で順序立てながら2年間過ごしてきました。中1のサイエンスリテラシーで、知りたいたいことを自分の中で明らかにしてから実験に取り組むということも学んだので、それが基礎研究に活かせるなと思います。高校では、誰もやっていないようなところに足を踏み入れて、世界で自分しかできないということを経験してみたいなと思います。



高校 基礎研究β

自分だけの研究を持つ

高校1～2年次の「基礎研究β」は生徒一人ひとりがテーマを設定して研究活動を行うプログラムです。専門的な研究分野を持つ教員やサイエンスコミュニケーターが伴走しながら、生徒は自ら計画を立てて研究を進め、自律した研究者としての姿勢を培っていきます。

[研究テーマ例]

- 寒天の濃度と放線菌の成長への影響
- Jbel Wawrmast 層の化石のCT 調査
- 光照射によるプラナリアの再生への影響
- ミツバチの鏡像自己認知能力の検討
- クオリア構造による嗅覚の可視化
- 心理学が扱う「心」とは何か、についての哲学的考察



静かなドローンを作りたい！

高校 MSTC 2年 | M・Sさん

研究テーマ

生体模倣トroidalプロペラによるドローンの静音化

プロペラの静音化の先行研究を調べていくなかで、トroidalプロペラという輪っか状のプロペラがあることがわかりました。分野を広げてさらに調べると、船のスクリューで使われているプロペラの端にクジラのヒレをまねて凹凸をつけることで静音化するという先行研究があり、2つの技術を組み合わせたら静かになるのではと仮説を立てました。初めての3Dモデリングに苦戦しながらも、先生や先輩方に教えていただき、輪っか状のプロペラに凹凸をつけて3Dプリンターで印刷し、モーターに取り付けて音響実験をする、ということを行いました。

Q1. 中学の基礎研究αでの経験で良かったと思うことは何ですか？

中学のゼミはラフに話し合える雰囲気、みんなが好きなものについて語り合う感じが良かったです。最終的には卒論にまとめて学園祭でポスター発表を行いました。かなり今の研究にも生きていますし、中学生の時点で人に説明する力を養えたことはすごく大きかったなと思います。人に説明することは慣れが大事なので、高校生になって発表する機会が増えてもつまづかなかったですね。

Q2. 高校生でなぜ今の研究をやろうと思ったのですか？

元々物理が好きだったので物理系の研究をしたいと思っていました。学校で映像班という有志団

に所属していて何か新しいことをしたいなと思ったときに、小さい頃から興味があったドローンを使って撮影してみたいなと思いました。しかしドローンは人に近い場面だと騒音のせいで不快感を与えてしまうので、静かなドローンで撮影できたら良いなと思って、ドローンの静音化を研究テーマに選びました。

Q3. 今後の目標や将来やりたいことを教えてください。

UTokyoGSC-Next*で採択していただいたので、大学の研究室をお借りしてこのプロペラのシミュレーションをしたいと思っています。研究は自分の中ですごく楽しいことですし、色々な人の意見だったり研究について聞くのも好きなので、どんどんシンポジウムや学会に出たいなと思ってい

ます。明確には決まっていのですが、高校を卒業したあとも何らかのかたちで研究活動や探究していくことは続けたいですね。

*東京大学で行われている革新的な科学技術人材を育成する研究活動プログラム



国内外での研究発表が成長の場

国内外の科学コンテストにて自分たちの研究成果を発表します。外部の研究者との質疑応答やディスカッションから多くの学びを得ます。

表彰実績 (2024年度までの抜粋)

- 文部科学大臣特別賞 (2024)
- JSEC (高校生・高専生科学技術チャレンジ) 敢闘賞 (2021) 優秀賞 (2021, 2022) 日本ガイシ賞 (2023) ▶ 日本代表としてリジェネロン国際学生科学技術フェア (Regeneron ISEF) 2024 に出場
- 第20回 全国物理コンテスト 物理チャレンジ2024 優良賞
- 化学グランプリ 関東支部長賞 (2024)
- 第14回 高校生バイオサミット in 鶴岡 優秀賞・審査員特別賞
- 水中ロボットコンベンション in JAMSTEC ジュニア部門 優勝 (2023) 準優勝・JAMSTEC 特別賞 (2024)
- つくば Science Edge 口頭発表部門 銀賞 (2023)・創意指向賞 (2024)

積極的に外部での研究を行い、新たな視点を得る

学内での研究に加え、大学などの研究機関で最前線の学びをすることで、貴重な経験や知識を積むとともに、自分の研究や進路を新たな視点で振り返ることができます。今後、大学や専門機関との連携をさらに強化していく予定です。

- サイエンスキャスル研究費 ものづくり0.THK 賞 2024 採択
- iGEM 2023 Grand Prize Winner High school (外部チームに本校生徒も参加)
- 東京大学 UtokyoGSC-Next 第三段階選抜 (研究室配属) (2024)
- 東京大学 Global Science Campus 第三段階選抜 (研究室配属) (2021, 2022)
- 東京農工大学 Global Science Campus 2021 採択

Curriculum カリキュラム

メディカルサイエンステクノロジークラス(MSTC)は中学2年次からスタートするクラスであり、中学1年次はインターナショナルクラス(ISC)で学びます。MST入試の合格者は、中学2年次の進学時に優先的にMSTCに在籍できますが、ISCを選択することも可能です。ISCの合格者でMSTCを希望する場合は、中学2年次の進級時に成績や定員などを考慮して、総合的に判断し、選抜いたします。

中学 メディカルサイエンステクノロジークラス

2年				3年			
国語	5	美術	1	国語	5	美術	1
社会	3	保健体育	3	社会	4	保健体育	3
数学	5	技術・家庭	2	数学	5	技術・家庭	1
理科	5	道徳	1	理科	4	道徳	1
英語	6	総合	2	英語	6	総合	3
音楽	1	特別活動	1	音楽	1	特別活動	1
			合計				合計
							35

- ・特別活動の時間には、年間計画に基づく各行事、各種講演会も含む。
 - ・総合的な学習の時間には、宿泊行事を含む校外での社会体験、観察、実験、見学、調査なども含む。
 - ・2・3年次の「基礎研究α」は総合的な学習の時間に含む。
- ※上記は2025年度入学生のカリキュラムであり、今後変更する可能性があります。
 ※MSTCでは、副担任にInternational Teacherはつきません。
 ※中学1年次のカリキュラムについては、インターナショナルサイエンスクラス p.25 を参照。

高校 メディカルサイエンステクノロジーコース

1年		2年		3年						
必修	現代の国語	2	必修	現代文演習	2	必修	数学C	2		
	言語文化	3		地理総合	2		必修選択	化学	4	
	歴史総合	2		公共	2			体育	3	
	数学I	3		数学II	4			英語コミュニケーションⅢ	3	
	数学A	2		数学B	2			論理・表現Ⅲ	3	
	物理基礎	2		化学	3			ホームルーム	1	
	化学基礎	2		体育	2			自由選択	数学Ⅲ	6
	生物基礎	2		保健	1				数学演習α	4
	体育	2		英語コミュニケーションⅡ	3				物理演習	4
	保健	1		論理・表現Ⅱ	3				生物演習	2
	英語コミュニケーションⅠ	3		情報Ⅰ	2				現代文演習	2
	論理・表現Ⅰ	3		総合的な探究の時間	1				古典演習	2
	家庭基礎	2		ホームルーム	1				地理演習	2*
	総合的な探究の時間	2		選択必修	物理				4	政治・経済
ホームルーム	1	生物	数学演習β							
選択必修	音楽Ⅰ	2	選択自由	古典演習	2	合計				
	美術Ⅰ			26-34						
合計		34	合計		32-34					

*該当科目から1つまで選択できる。

- ・総合的な探究の時間には、宿泊行事を含む校外での社会体験、観察、実験、見学、調査なども含む。
 - ・1・2年次の「基礎研究β」は総合的な探究の時間に含む。
- ※上記は2025年度入学生のカリキュラムであり、今後変更する可能性があります。

IC

INTERNATIONAL
CLASS & COURSE

インターナショナルクラス&コース



世界に直結する 圧倒的な国際環境

圧倒的な国際環境で、一般生と国際生がともに支え合いながら、英語を駆使して世界に貢献できる人材への成長を目指します。

POINT | 英語で学びを深める

- 1 英語・数学・理科・社会を All English で学ぶ
- 2 International Teacher が担任としてホームルームや行事に関わる
- 3 高校では海外のカリキュラムで学ぶ
- 4 一般生も在籍し、国際生と刺激し合い成長する

中学

インターナショナルクラス

お互いを理解し高め合う文化 日本で海外の学びを実践する

本校の中でも特に国際色豊かなのがICです。英語・数学・理科・社会(主要教科)をAll Englishで学びます。国際生が学ぶAcademyグループとこれから英語を本格的に学ぶImmersionグループは、主要教科以外の授業を同じ教室で受け、学校行事や宿泊研修にも協力して取り組むなど、ともに成長する環境があります。



中学 | Academy group

国際生

英語で考え行動する 世界を視野に学びを発展させる

日本と海外の学びを高いレベルで融合し、日本の学校文化に触れながら、英語での学びをより充実させます。アクティブな授業を通して、学びの土台となる思考力や、自分で学びを進める力を身につけます。

中学インターナショナルクラスの特徴

Inclusion & Collaboration 互いを高め合うクラス

担任はInternational Teacher、副担任は日本人教員
英語でホームルームを運営します

入学の日からホームルームは基本的に英語で運営されます。Academyの生徒は海外での学びを継続することができ、Immersionの生徒は日常会話を通じて生きた英語を学ぶことができます。一条校として日本の価値観や文化も大切にしながらホームルームを行っています。



BUDDY SYSTEM バディシステム

AcademyとImmersionの生徒が2人または3人組のバディとなり、学習目標を1週間ごとに確認し合ったり、日常的な相談などを行うことで信頼関係を築きます。組み合わせはローテーションし、多様な価値観を認め合う環境を実現しています。



オリエンテーション合宿(中1)

ICは入学直後のオリエンテーション合宿で、チームビルディングを重視したプログラムを行います。異なる環境で育ってきた生徒同士が互いに尊重し助け合うことで、クラスの文化を醸成していきます。



Social Link Action(中3)

Social Link Actionは、地域で活動されている方々と連携し、課題解決型のプロジェクトに取り組む宿泊行事です。ICは、広島で平和教育や国際性を活かした活動を、地域の方々と協働しながら行います。

英語力に応じた2つのグループ

国際生
(帰国生や英語入試で入学した生徒)



Academy group p.32へ

これから本格的に英語を
学び始める生徒



Immersion group p.33へ

英語・数学・理科・社会は All Englishの授業を行います

各分野を専門とするInternational Teacherがアメリカ・イギリスのテキストとオリジナルの教材を使用しています。数学のみ日本の教科書を翻訳したものを使用しています。

Academyグループのみ 国語は基礎レベルクラスも設置

入学後に国語力を計るテストが実施され、基礎学習が必要な生徒は基礎レベルクラスで学ぶことができます。実力に合わせて1年ごとにステップアップも可能です。

Academyの探究授業 "Fusion"(中1-中2)

内側に生まれる"Spark Question"から、それぞれのプロジェクトに取り組んでいくPBL(Project Based Learning)型の授業を行います。挑戦の中で科学的アプローチサイクルを回します。

Academic Seminar (中2-中3)

選んだテーマをゼミナール形式で学び、探究活動を行います。1年次のサイエンスリテラシーに引き続き英語で実践し、アカデミックスキルを学びます。

[Academic Seminar開講講座例]

- Urban Planning and City Life
- Lyric Lab
- The Sociology of Soccer
- Sports Science
- Memories

※2025年度実施



日本語を忘れるくらい生きた英語が飛び交うクラス

高校IC1年(中学Academy) | H・Iさん



Q1. IC (Academy) に入った印象はどうでしたか、戸惑いはありましたか？

日本の学校の要素も入れつつ、クラスはザ海外のインターという雰囲気なので、国際教育を味わえる日本の学校っていうのは本当ただと思います。

みんな考え方がすごく多様なので、最初からまったく違和感なく馴染めました。

Q2. Academic Seminarではどんなことを行っていましたか？

人体の仕組みをどうスポーツに使えるのかという、スポーツサイエンスをやっていました。スポーツサイエンスは実験がしにくかったので、実験をしている団体のデータを調べたりして自分の論文を書きました。論文を書くこと自体は大変でしたが、調べる段階で本当に色々なことを学べて、知識が広がって楽しかったです。

Q3. Buddy Systemについて教えてください。

ImmersionとAcademyで組んで、毎日英語で対話をするルーティンを行います。Immersionの生徒は必ず英語で話す機会になりますし、Academy

の生徒は試験を経験したことのない生徒が多いので、試験までの勉強方法や学校文化を教えてもらったり、一緒に成長できる感じでした。

Q4. 入学前の英語力の維持、向上はできましたか？

とても向上しました。入学当初は日本語に慣れてしまっていたのですが、数か月後にはすべて英語になっていて、日本語を忘れるくらい英語で話していました。私のクラスでは毎日にぎやかな英語が聞こえてきますが、やっぱり生きた英語が飛び交う環境にいられるのがICの良いところだと思います。アカデミックスキルやライティングスキルも授業で頻繁にやるので、本当に思っている以上に力がつくと思います。



中学 | Immersion group 一般生

英語で学び 困難を乗り越える 世界に貢献する人材を育てる

Immersionグループでは、本格的な英語学習が未経験でも、「将来、国際社会に貢献したい」という強い思いを持った生徒が飛躍的に成長する国際環境があります。

Immersionグループの3つの柱

1 英語の世界に飛び込む

限られた知識や経験の中でも、必死に英語で乗り越えるなかで、適応する力、推測する力、GRIT(やりぬく力)が養われます。

2 Academic Skillsを身につける

エッセイライティングなどの技法を身につけます。

3 CLILの実践

様々な教科を英語で学ぶ「CLIL」を実践することで、内容と言語がつながり、実践的な英語力を伸ばします。

段階的にAll Englishでの学習へ

このグループでは、英語で考え、英語で他教科を学ぶことが求められます。英語ゼロベースの生徒も段階的に英語での学習割合を増やしながら、中学3年次には主要教科をAll Englishで学習していきます。

【サポート体制】

※2025年度実施

- After School Session(放課後セッション)
- English Camp(集中英語合宿)
- オンライン英会話の活用
- 定期的な個別面談の実施 など

Academic Seminar(中2-中3)

1年次のサイエンスリテラシーに引き続き、英語でゼミナール形式の授業を行うことで、実践的な英語スキルを向上させ、基礎的なアカデミックスキルを学びます。

【開講講座例】

※2025年度実施

- Language in Society(社会言語学)
- Cross-cultural Studies(比較文化)

中1の夏以降は英語で辛いと思うことはあまりなくなった

高校IC 1年(中学Immersion) | T・Mさん



Q1. 入学時の英語力を教えてください。

まったくゼロです。入学式で「ムーブ」と言われたときに理解できなくて、周りを見ながら、「あ、(体育館に)動いて意味なんだ」という程度でした。

Q2. 今はどのくらいできるようになりましたか？

主要教科は全部英語で学んでいます。先生もゆっくり話してくれますし、わからないときは言える環境なので、中3になる前から英語で授業を受けることへの抵抗はなくなっていたと思います。中3の5月に受けたTOEFL ITP®は、540くらいでした。

Q3. いつ頃から英語を理解し、言いたいことが伝えられるようになりましたか？

最初の頃は聞こえた単語だけを頼りに動くという感じで、先生の言っていることも半分ほどしかわかっていなかったと思います。でもすぐ覚えていたのが、中1の夏休み明けに、それまで早く聞き取れなかったAcademyの人たちの会話が、急にスッと文章で頭に入ってきたことがあったんです。文章にして言えるようになったし「今できた！」と思う瞬間が増えました。中1の夏以降は英語で辛いと思うこともあまりなかったです。

※取材時：中学3年1月

Q4. 英語力向上のために何か意識したり習慣づけていたことはありますか？

授業内で自分の考察を書くときに、まずは単語を調べずに、今自分の知っている単語を使って文章にすることを常に意識していました。

Q5. Immersionを考えている人に何かメッセージをお願いします。

やっぱり最初は怖いし、衝撃も大きくて大変なことも沢山あります。でも、周りも英語を始めたばかりの環境なので、自分でも着実に成長したと思えることも多いです。周りの成長にも感化されるのでお互いに刺激合って成長できる場だと思います。

西オーストラリアと日本の高校卒業資格が取得できるプログラム

高校ではDDPグループに進学し、西オーストラリア(WACEプログラム)と日本の高校卒業資格の取得を目指します。 詳細は [p.35](#) へ

*一定の基準を超えた場合、AP(Advanced Placement)を選ぶことができます。



高校

インターナショナルコース

MITA



海外のプログラム

2つのグローバルな教育プログラムから、自分の目標や適性に合わせて、最適なグループを選択できます。

自分の目標や適性に合わせて グループ選択が可能

APグループとDDPグループそれぞれに特性と強みがあり、IC Academyの生徒は中学3年次にどちらかを選択することが可能です。どちらのグループも国内外の大学への進学が可能であり、自分の学習スタイルや身につけたい学習内容、進路などを考慮して選択することが大切です。IC Immersionの生徒はDDPグループへの進学で着実に実力をつけることが可能です。APグループへの進学を希望する際には、一定の基準を超える必要があります。制限が設けられています。

APグループ (Advanced Placement)

AP試験

プログラム実施期間
高2の1学期～高3の1学期

DDPグループ (Dual Diploma Program)

WACE

海外の高校卒業資格の
取得が可能

ATAR

海外の高校卒業資格 +
ATARランキング

プログラム実施期間
高1の3学期～高3の2学期

高校 | AP group

大学レベルの学びに挑戦する APプログラムがスタート

本校オリジナルの教科カリキュラムに加えて、大学進学後の単位にも採用される高等教育の内容を先取りして取り組みます。

アドバンストプレースメント (Advanced Placement : AP)

APの授業を履修しAP試験にて成績を修めることで、グローバルに実力を証明することができます。APカリキュラムで学んだ能力と知識で、大学やその先の世界で成功するための十分な準備を整えることができます。AP試験で高得点を取ることで、大学の単位を取得したり、大学の前提条件を満たすことができる場合もあります。

※2025年度実施

- 【授業例】 ●AP English Literature and Composition ●AP Biology ●AP Chemistry ●AP Environmental Science ●AP Physics I
●AP Physics II ●AP Precalculus ●AP Calculus AB ●AP Psychology ●AP World History



高校 | DDP group

日本とオーストラリア 2つの高校卒業資格取得を目指す

世界的にも評価の高いオーストラリアの教育水準と本校の教育理念が相乗効果を生み、高等教育レベルの分野まで学習することが可能です。



オーストラリア教育の魅力

オーストラリアの教育が育むのは、Successful Learner, Confident and Creative Individual, Active and Informed Citizen。そのために必要な7つの力(リテラシー/数学的能力/ICTスキル/批判的・創造的思考力/個人的・社会的スキル/異文化理解力/倫理的理解力)を汎用的能力として位置づけています。本校の教育と親和性の高いオーストラリアの教育と融合した学びで、グローバル社会で活躍するための力を伸ばします。



@StudyPerth

デュアルディプロマプログラム (Dual Diploma Program : DDP)

日本にいながら 海外の高校卒業資格の取得が可能に

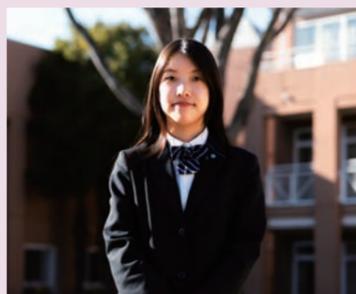
DDPグループは、西オーストラリア州教育省と提携したDDP (デュアルディプロマプログラム)を導入しています。日本の高校に通いながら、西オーストラリア州のカリキュラムに則った授業を履修することで、卒業時に本校の高校卒業資格に加え、西オーストラリア州の高校卒業資格(WACE)を取得できるようになります。各教科を専門とするInternational Teacherが英語で授業を担当するため、留学する必要がなく、本校に通学しながら修得することができます。西オーストラリア州の万全なバックアップ体制のもと、現地のカリキュラムスペシャリストと密に連携をとりながら、定期的な教員研修も実施しています。国内大学進学時に帰国生受験で利用した事例もあります。

日々の学び + 試験で評価される国際的なスコア「ATAR」

ATARは、高校3年時に受験可能なオーストラリア大学進学統一検定試験です。平常評価も反映されるユニークなランキングスコアとなっており、日頃の継続的な学習の成果が直接的に結果につながります。信頼できる国際的なスコアとして認められており、海外大学進学時に必要な英語資格の提出やファウンデーションコースの履修が免除となることも多くあります。

Message from our Alumni

卒業生からのメッセージ



Q1. 好きだった科目やDDPで 得られたものについて教えてください。

生物の授業での魚や豚の解剖、ゲノム編集のキットを使うなど、実際に手を動かすような授業が好きでした。元々予定を立てても守れないことが多かったんですけど、やる気があるときもないときも毎日少しずつ、とにかく手をつけることで、忍耐力を身につけられたと思います。

机上の学びだけでなく 実践が私を変えた

Johns Hopkins University | M・Lさん (2025年3月卒業) 柳井財団奨学生

修了後にオーストラリアで表彰してもらったことも貴重な体験になりました。

Q2. 将来の目標はありますか？

生体工学を学びたいなと思っていて、将来は医療テクノロジーの開発や研究に携われたらいいなと思っています。授業外での活動でITの先生とAI創業に関わる研究をしていたことがきっかけとなり、これから発展しがいのある分野に惹かれていきました。他にも課外活動で取り組んだボランティアも影響しています。

Q3. ボランティアはどのようなことを やっていたのですか？

日本の子どもの貧困や食料不足などの問題に興味があったので有志団体を立ち上げて、フードバン

クへの食品寄贈や啓発活動の一環としてワークショップを行っていました。WHO(世界保健機関)のサマープログラムに参加しメンタルヘルス教育に関する提言を行ったり、日本に住む外国人のために、病院やクリニックのウェブサイトの翻訳活動などをしていました。

Q4. 三田はどんな学校ですか？

オープンな環境が整っていると思います。DDPを取り入れたり、APに挑戦しようとしたり、常に変化している。そういった変化も含め、成長に前向きな姿勢を示している学校だと思います。

* ATARランキングが上位0.5%以内、ATAR試験の1つの科目で最高得点ということでオーストラリアに招待され表彰された。

Curriculum カリキュラム

中学 インターナショナルクラス

1年				2年				3年			
国語	4	美術	1.3	国語	4	美術	1	国語	3	美術	1
社会	3	保健体育	3	社会	3	保健体育	3	社会	4	保健体育	3
数学	4	技術・家庭	2	数学	5	技術・家庭	2	数学	5	技術・家庭	1
理科	4	道徳	1	理科	4	道徳	1	理科	4	道徳	1
英語	8	総合	2.4	英語	8	総合	2	英語	8	総合	3
音楽	1.3	特別活動	1	音楽	1	特別活動	1	音楽	1	特別活動	1
		合計	35			合計	35			合計	35

- 特別活動の時間には、年間計画に基づく各行事、各種講演会を含む。
 - 総合的な学習の時間には、宿泊行事を含む校外での社会体験、観察、実験、見学、調査なども含む。
 - 1年次の「サイエンスリテラシー」、2・3年次の「Academic Seminar」は総合的な学習の時間を含む。
- ※上記は2025年度入学生のカリキュラムであり、今後変更する可能性があります。
※インターナショナルクラスのAcademyグループでは、英語・数学・理科・社会の授業は入学時からAll Englishで行います。

高校 インターナショナルコース (AP/DDP)

1年				2年				3年			
現代の国語	2	言語文化	2	国語演習	2	Media and Information Literacy	4				
地理総合	2	公共	2	体育	2	Sustainability	4				
歴史総合	2	保健	1	Well-Being	4						
倫理	2	総合的な探究の時間	1	体育	3						
数学 I	5	ホームルーム	1	College Guidance	4						
物理基礎	2	World History	4	総合的な探究の時間	1						
化学基礎	2	AP World History	4	ホームルーム	1						
生物基礎	2	Philosophy and Ethics	4	Math	5						
体育	2	AP Physics 1	4	AP Calculus AB	4						
保健	1	Precalculus	5	AP Physics 2	4						
英語コミュニケーション I	4	AP Chemistry	4	Metaphysics	4						
家庭基礎	2	AP Environmental Science	4	合計	32						
情報 I	2	AP Biology	4								
総合的な探究の時間	1	AP Psychology	4								
ホームルーム	1	AP English Literature and Composition	4								
音楽 I	2	Literature	4								
美術 I	2	合計	34								
合計	34										

- 総合的な探究の時間には、宿泊行事を含む校外での社会体験、観察、実験、見学、調査なども含む。
- ※上記は2025年度高校入学生のカリキュラムであり、今後変更する可能性があります。

DDP (WACE / ATAR)

1年				2年				3年			
現代の国語	2	言語文化	2	国語演習	2	WACE ATAR EALD 12	4				
地理総合	2	公共	2	体育	3	College Guidance	4				
歴史総合	2	体育	2	WACE ATAR EALD 11	4	総合的な探究の時間	1				
倫理	2	保健	1	総合的な探究の時間	1	ホームルーム	1				
数学 I	5	WACE ATAR EALD 11	4	Study Hall	4	WACE ATAR Math Applications 12	4				
物理基礎	2	WACE ATAR EALD 12	4	ホームルーム	1	WACE ATAR Chemistry 12	4				
化学基礎	2	WACE ATAR Math Applications 11	4	WACE ATAR Media Production and Analysis 11	4	WACE ATAR Media Production and Analysis 12	4				
生物基礎	2	WACE ATAR Chemistry 11	4	WACE ATAR Math Methods 11	5	Math	5				
体育	2	WACE ATAR Media Production and Analysis 11	4	Precalculus	5	合計	32				
保健	1	WACE ATAR Math Methods 11	4	合計	34						
英語コミュニケーション I	4	WACE ATAR Math Methods 12	4								
家庭基礎	2	Math	5								
情報 I	2	合計	32								
総合的な探究の時間	1										
ホームルーム	1										
音楽 I	2										
美術 I	2										
合計	34										

- 総合的な探究の時間には、DDP 準備コース、学年宿泊行事を含む校外での社会体験、観察、実験、見学、調査なども含む。
- ※上記は2025年度高校入学生のカリキュラムであり、今後変更する可能性があります。

CAREER EDUCATION

キャリア教育

変化の激しい時代でも 自分の未来を切り拓いていく
自ら考え行動することを支援するキャリア教育

Adaptability | アダプタビリティ

キャリア教育の根幹は日々の学び 12のコンピテンシーを身につける

本校のキャリア教育の根幹は、日々の学習の中にあります。変化し続ける世界で求められる「12のコンピテンシー（能力・行動特性）」を教育目標として設定し、生徒たちは学校生活のあらゆるシーンにおいて、これらを身につけていきます。一人ひとりが自己理解を深め、他者との関係性から「自分がどうありたいか」を考え、進路やその先の未来へとつなげていきます。



Identity | アイデンティティ

自分ってどんな人間なのか？

プレゼンテーションや対話を通し自己理解を深める

本校では、プレゼンテーションを中心としたアウトプットの機会が授業や行事の中でも用意されています。考えたことを自分の中だけでとどめるのではなくアウトプットすることで、客観的な視点加わり、考えが整理され、広がり生まれます。

オリエンテーション合宿 (中1)



入学後初の宿泊行事。夢や目標についての仲間とのコーチングで自己理解を深め、最終日にはクラスメイトの前で発表も行います。

Presentation Day (中2・中3)



学年ごとのテーマで全員がプレゼンテーションを行い、自ら探究したことを他者に伝えるという体験を通して、将来のイメージを具現化していきます。

MITA International Festival (学園祭)



各学年が表現活動を行います。中学1年次は他者への取材などを通して改めて自分を掘り下げ、自己理解についてプレゼンテーションを行います。

Message | メッセージ



変化の激しい21世紀においては、変化に翻弄されるのではなく、変化に適応し、しなやかに生き抜いていくキャリア教育が必要です。本校では日々の授業、宿泊研修、様々な学校行事の中で、生徒が自律し、自らのキャリアと向き合っていく教育を実践しています。教員はポートフォリオを日々確認し、個別カウンセリングなどを行っています。10年前に三田国際がスタートしてから、生徒が成長する姿には驚かされることばかりです。生徒たちは社会をより良い方向に変えようと、様々な有志団体を設立しています。社会にある様々な格差の是正に向けた活動を行ったり、自ら働きかけて既存の企業やNPO団体とコラボしている生徒もいます。生徒たちが自発的に挑戦していけるように、サポートすることが学校の大きな役割だと認識しています。

中学教頭 内田 雅和 | キャリアカウンセラー
国内外のキャリア関連の資格を取得。

Action | アクション

多様な価値観を知ることによって多様な生き方が選べる

「どんな自分になりたいか」から進路を選択する

ワークショップやフィールドワークなど、学年ごとに社会との接続を数多く行うことで、社会の中で「自分がどうありたいのか」という問いを自ら考え深めていきます。宿泊行事では、地域で活躍されている方々や、第一線で活躍するプロフェッショナルなど多くの方々との出会いを通して、自分の現在地を更新し目標を設定していきます。

Social Link Trigger (中2)・Social Link Action (中3)



中学2・3年次に行われる「Social Link」プログラムでは、知識としての社会課題ではなく実際に向き合っている方々と直接対話をし体感することで、自己と社会を捉え直します。中2では全クラスが関東近郊、中3ではISC・MSTCが福井、ICが広島をフィールドに活動します。中3のISC・MSTCでは自分なりの「アクション」を考え行動に移すことで、自分も社会に対して貢献できるというエージェンシーを身につけます。ICは広島に赴き、地域で活動されている方々や、日本に留学している大学生と協働しながら、平和に関する活動を行います。

Career Training Camp (高1)



在校生の保護者の方々に協力いただき、各分野のプロフェッショナルとのセッションを通して、自分の現在地を確認し、社会にどのように貢献できるのかを考えキャリアビジョンを明確にしていきます。

海外研修 (高2)



高校ではコースごとに内容異なる研修が設定されています。すべてのコースで現地の方と交流するなど、実体験の中で学びが深まっていくようにデザインされています。帰国後、グローバルな視点を加えながら改めて自分のキャリアパスを捉え直し、進路や将来の夢の実現へとつなげていきます。

Portfolio | ポートフォリオ

デジタルポートフォリオの活用 記録・編集することで自分と向き合っていく



ここでのポートフォリオとは、日々の学習や多様な活動内容、成果やそこから得た気づき、成長を記録していくものを指します。本校ではアプリケーションを活用しており、教員も日々フィードバックを行います。生徒自身が自己評価を行う過程で、自分を客観的な視点で捉え直していきます。教員も個別にフィードバックを行い、相互理解を深めていきます。

Message from our Alumni | 卒業生からのメッセージ



宇宙工学の夢を具体的な目標に 挑戦と研究から得た多くの学び 東北大学 工学部 | S・Mさん (2025年3月卒業)

私は三田で、様々なことに挑戦してきました。吹奏楽部では、コンテストでの金賞獲得や全国大会出場、学園祭での中庭公演の実現など、挑戦をかたちにする貴重な経験ができました。研究活動では、先生方のサポートのもと研究テーマを設定し、計画・実行する力を養いました。学外での研究発表の機会が豊富だったことも含め、大学での研究にも活かせると感じています。こうした経験を通じて、私は自分の興味を追求しながら、多くの人と協力して目標を達成する力を身につけることができました。また、自分や社会と向き合うキャリア教育の時間を通して、小さい頃から抱いていた宇宙に関わりたという漠然とした夢を、具体的な目標にすることができたと思います。三田で充実した環境を実感したこともあり、進学先は研究環境と国際交流の制度が整っていることが決め手となりました。三田は「やりたい」を追求できる学校です。先生方の後押しや自由な発想を尊重する校風のおかげで、多くのことに挑戦し成長できました。ここで得た経験を活かし、大学でも興味を深め新たな挑戦を続けていきたいです。

LEARNING SUPPORT

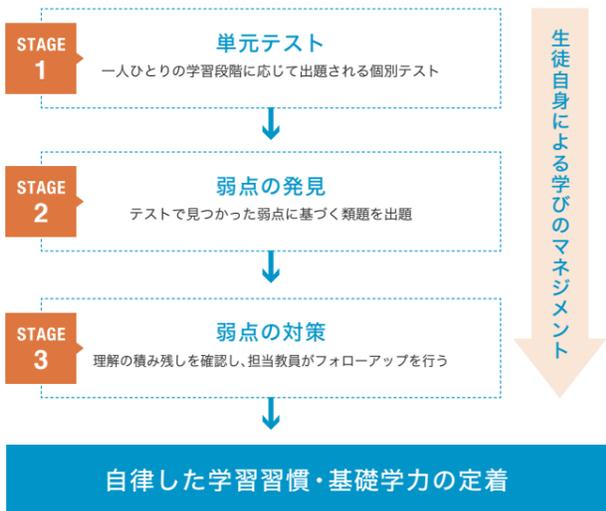
学習サポート



自律した学習者となるために

一人ひとりに必要な基礎学力の定着をサポート

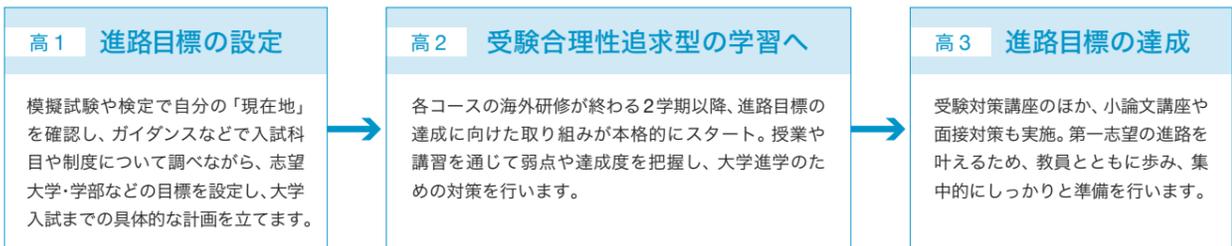
自ら探究し続けるために、基礎学力の定着は不可欠です。目標を叶えるための進路を見据えながら、今取り組むべき学びやアクションを教員とともに考え、日々実践していきます。一人ひとりの成長を促すために土台をしっかりと固め、自律した学びへと導きます。



セルフマネジメントする力

本校では、自主的に学ぶ姿勢を養うことを大切にしています。自主学習の習慣化、学力の向上を目指して朝学習の時間を活用して英語・数学を中心にテストを実施しています。また、長期休みには多様な講座を設けて教員は生徒の学習状況をアセスメントし、必要に応じてフォローアップを行います。生徒は自分自身の理解度を確かめ到達目標に向けた学習計画を立てることで、弱点を克服し、強みをさらに伸ばしていきます。これにより、定期テストなどの短期的計画から、進路目標達成に至る長期的な計画までを見通せる視野を持った、「自律した学習者」としての習慣を身につけることができます。

目標達成をサポートする進路指導



ポートフォリオによるキャリアマネジメント

夏期・冬期講習 参加希望制

夏季・冬季休暇中、全学年を対象に講習を実施します。中学1年次～高校1年次は学期中のつまづき解消や発展問題への挑戦だけでなく、「問いから始まる探究」をテーマにした理科実験講座なども設定しています。さらに、高校2・3年次には受験合理性の追求を目的とした講座を開講し、時期や進路目標に応じて一人ひとりの能力向上を図ります。 *講座ごとに費用がかかります。

* 2024年度実施

弱点克服(開講講座例)	
高校「初級～中級」英語	高校の英語学習を進めるために、英文法の苦手を克服し、4技能を使って身につけることが目標です。
中学現代文(超初級)	現代文が苦手な生徒向けの初級講座です。読解などについて扱います。
中1基礎数学(復習と予習)	基礎的な内容を中心に2学期までの総復習(方程式・不等式・関数・証明問題)を行います。

* 2024年度実施

学びの拡張(開講講座例)	
VIVIWARE Cellで遊ぼう!	アイデアを具現化し思考を拡張させるプロトタイプングツールで、仲間とともにものづくりを楽しもう!
アフォーリズムを“ガチで”哲学する	倫理哲学グランプリで取り扱われた題材をベースに、講義参加者で「哲学する」ことを目指します。
Python初めの一步	基本的なプログラミングの考え方や簡単なコーディングを体験し、自分で動くプログラムを作りましょう。
芸術は爆発か? ~岡本太郎概念とその応用実践~	芸術について根本から考え、実践してもらいます。講座の対象は、広く「人間が表現すること」に興味のある人です。
レーザーカッターを使ってみよう!	Illustratorを使ってデザインし、最後にはレーザーカッターでオリジナル作品を作ります。

* 2024年度実施

受験対策(開講講座例)	
古文の知識を取り戻さむ	理解している知識も理解していなかった知識も、再度確認し基礎知識を定着させていきます。
最後の挑戦! 難関大学向け微積分	難関大学の問題に向き合いながら、今までの知識・思考の整理を行います。
化学基礎・化学の基本演習	中和滴定や酸化還元を中心に、共通テストから私大入試レベルの問題演習を行います。
17・18世紀ヨーロッパ文化史	普段の授業では扱えない文化史の範囲について演習問題も含めて扱います。
Essay workshop	海外大学の入試担当者が何を重視しているかを理解し、印象を残せるようなエッセイの書き方を学びます(英語開講)。

Study Camp (高校生対象 参加希望制)

高2の春季休暇・高3の夏季休暇中に、3～4日間にわたって開催される通学型学習イベント。自身の学習状況や進路目標に合わせて学習計画を立て、終了後には振り返りも行います。生徒は希望する講座を受けたり、教員や卒業生による相談室や自習室を利用したりすることができます。

Message from our Alumni 卒業生からのメッセージ



三田だからこそ「自分ごと」として続けられた学び
慶應義塾大学 法学部 | K・Rさん (2025年3月卒業)

私が第一志望に合格できたのは、生徒の主体性を尊重する三田の環境のおかげです。自らの興味を探究する同級生を見て、私も自分の学びたいことや自分の強みが何かを考えるようになりました。そして、大学では、法律を学ぶだけでなく論理的思考力をさらに伸ばせる法学部を目指そうと決意しました。塾に通っていなかった私にとって、長期休み中の講習や自習室の開放は、自主的な受験勉強を支える大きな助けとなりました。また、高3の授業で問題演習などが増えたことで、先生から具体的なアドバイスはいただく機会も多くなり、それが一般入試で役立ちました。漠然とした不安に駆られることがあっても、考えることから逃げず目標に向かって走り続けられたのは、自分で決めた目標だったからこそです。三田での6年間は、かけがえのない思い出とともに私を成長させてくれました。今後も、強い意志と責任感を持って学び続け、自分の道を自分で切り拓いていける人物になれるよう努力します。

海外大学進学に向けて

- 本校には JAOS* 認定留学カウンセラーや RCA 海外留学アドバイザー* の資格を持つ教員が多数在籍しています。すべてのコースの生徒を対象に、一人ひとりの状況に応じたカウンセリングや、海外大学進学に向けた準備や心構えなどについての進路ガイダンス、海外大学の関係者による説明会を定期的実施しています。また、現地大学に通う本校卒業生が登壇するセミナーなども開催しています。
- 本校が提携している大学の入学条件を満たした場合、奨学金の給付や入学金の割引があります。マンチェスター大学やシドニー大学なども含まれる「UPAA」や「Shorelight」にも加盟しており、進路を考える際に海外が身近な選択肢になるよう、様々な取り組みを行っています。

* JAOS: 一般社団法人海外留学協議会 (Japan Association of Overseas Studies)
 * RCA 海外留学アドバイザー: NPO法人留学協会が認定する民間資格。
 * UPAA: 協定している大学へ共通の入学願書と高等学校の推薦で入学できる、海外協定大学推薦制度。
 * Shorelight: アメリカの50以上の大学と提携し、海外からの留学生が北米で学ぶためのプログラムを提供。

CAREER RECORD

進路実績

2025年の主な国内大学合格実績

大学名	学部	総数
東京大学	理科二類	1
一橋大学	社会学部	1
京都大学	農学部	1(1)
東京科学大学	環境・社会理工学院	1
東京科学大学	生命理工学院	1
福島県立医科大学	医学部	1
東京外国語大学	国際日本学部	1
東京外国語大学	国際社会学部	1
東北大学	経済学部	1
東北大学	工学部	1
東京都立大学	経済経営学部	1
筑波大学	理工学群	1
お茶の水女子大学	理学部	1(1)
東京農工大学	農学部	1
東京農工大学	工学部	2
横浜市立大学	データサイエンス学部	1
信州大学	理学部	1
福井県立大学	恐竜学部	1
計		19(2)

大学名	学部	総数	
早稲田大学	社会科学部	4	
	法学部	1	
	政治経済学部	1	
	文化構想学部	1	
	商学部	4	
	文学部	2	
	国際教養学部	7	
	教育学部	4	
	基幹理工学部	2(1)	
	先進理工学部	1	
	創造理工学部	2	
	人間科学部	3(1)	
	スポーツ科学部	1	
	計		33(2)
慶應義塾大学	法学部	5	
	経済学部	6	
	文学部	5(1)	
	商学部	5	
	総合政策学部	2	
	環境情報学部	4	
	理工学部	4(1)	
	薬学部	2	
	看護医療学部	1	
	計		34(2)
上智大学	国際教養学部	7	
	総合グローバル学部	4	
	経済学部	1	
	文学部	7	
	法学部	2	
	総合人間科学部	5	
	外国語学部	5	
	理工学部	1	
	工学部	12(1)	
	計		32
東京理科大学	薬学部	1	
	理学部第一部	7	
	先進工学部	4	
	創域理工学部	5	
	経営学部	4	
	計		12(1)
	国際基督教大学	教養学部	6
計		33(1)	
計		138(5)	

大学名	総数	大学名	総数
福島県立医科大学	1	私立大学(GARCH他)	
東京医科大学	1	学習院大学	4
聖マリアンナ医科大学	3	明治大学	50(3)
杏林大学	1(1)	青山学院大学	43(2)
計	6(1)	立教大学	44(2)
		中央大学	20
		法政大学	26(1)
		立命館大学	1
		立命館アジア太平洋大学	3
		計	191(8)

()内は既卒者数 * 2025年3月(総数224名)分のうち、一部抜粋。

主な海外大学合格実績

大学名	順位
Princeton University	4
Stanford University	6
University of California, Berkeley*	8
University of Pennsylvania	14
Johns Hopkins University	16
University of California, Los Angeles*	18
Cornell University	20
University of Michigan-Ann Arbor	22
University of Washington	25
Duke University	27
New York University	33
University of California, San Diego*	34
Georgia Institute of Technology	40
University of Illinois at Urbana-Champaign	46
USA University of Wisconsin-Madison	56
USA University of California, Davis*	62
USA University of California, Santa Barbara*	67
USA Washington University in St. Louis	69
USA University of Southern California	72
USA Boston University	75
USA Purdue University West Lafayette	79
USA University of Massachusetts	84
USA University of Minnesota	87
USA University of California, Irvine*	90
USA Emory University	98
USA Pennsylvania State University	100
USA Parsons School of Design	
USA Grinnell College	
USA Bowdoin College	
CAN University of Toronto	21
CAN University of British Columbia	41
CAN McGill University	45
IRL University College Dublin	
GBR University College London	22
GBR University of Edinburgh	29
GBR King's College London	36
GBR University of Manchester	53
GBR University of Bristol	78
GBR University of Glasgow	87
ITA Saint Camillus International University of Health and Medical Sciences	
ESP IE University	
HUN Semmelweis University (医)	
FRA Savannah College of Art and Design	
FIN HAMK Häme University of Applied Sciences	
BEL KU Leuven	43
NLD University of Amsterdam	58
NLD Leiden University	73
HKG University of Hong Kong	35
CHN Fudan University	36
CHN Shanghai Jiao Tong University	52
KOR Sungkyunkwan University	
MYS Taylor's University	
AUS University of Melbourne	39
AUS Monash University	58
AUS University of Sydney	61
AUS Australian National University	73
AUS University of Queensland	77

*は編入を含む。 2022年～2025年までの過去4年分のうち、一部抜粋。
 順位 ……Times Higher Education (THE) によるWorld University Rankings2025の上位100位以内を掲載。

Message from our Alumni — 卒業生からのメッセージ

6年間の学びを振り返って



研究者として互いを尊敬できる環境 生物情報科学を追究する

東京大学 理科Ⅱ類 / K・Hさん (2025年3月卒業)

私は、MSTCで理数系分野への興味を深め、大学での研究やコンテストでの受賞、海外での研究発表も経験することができました。東京大学の学校推薦型選抜を受験した理由は、今までの経験を活かせることに加え、入学直後から充実した研究環境を利用できる点です。進学予定の理学部生物情報科学科は、まさに私が学びたい分野であり、理想的だと感じました。MSTCでは、各生徒が自分の研究テーマを持ち、互いに尊敬し合う関係が築かれています。楽しみながら研究に取り組む同級生を見て、私自身も日々の活動に主体的に取り組むようになりました。三田は生徒の主体性を尊重し、尖った内容でも実現を最大限サポートしてくれる、とても柔軟な学校だと思います。国際的な活動や研究など、生徒が幅広い分野で活躍している点からもそれがうかがえます。大学進学後は、専門分野に対する理解を深め、研鑽を積み重ねていきたいです。

「ひたむきさ」にあふれた学校で 世界を広げてくれる学びの楽しさに気づけた

一橋大学 社会学部 / S・Mさん (2025年3月卒業)

三田の一番の特徴は「ひたむきさ」だと思います。部活動や有志団体など、自分のやりたいことに熱心に打ち込む友人と、常に支えてくださる先生方に恵まれ、中高6年間を過ごせたことをとても光栄に思います。このような環境で、私は自らの世界を広げてくれる学びの楽しさを知り、自分なりにひたむきな努力を重ねてきました。三田の授業には、自らの興味・関心を広げるきっかけが多くあります。特に私は、英語の授業での小説や議論を通じて差別問題への関心を深め、問題の複雑な背景を学び、社会の是正に貢献したいと考えるようになり、多分野にわたる学びができる大学を志望しました。進学にあたっては三田で培った思考力や遂行力に加え、先生方のご指導にも大いに助けられました。三田で得た学びと、ともにひたむきに努力し刺激し合えた友人は一生の宝物です。これまでの経験を軸に今後も自らの興味を深め、より良い自分に成長できるよう努力していきます。



主体的にルールと向き合う 法で公正な社会の実現を目指す

慶應義塾大学 法学部 / M・Gさん (2025年3月卒業)

中高の6年間を通じて、私は「主体性を持つこと」の重要性を学びました。三田には、生徒の自由な発想や挑戦を尊重し変革を起こせる文化があります。私はその中で生徒会役員を務め、先輩たちとともに既存の校則を見直し提案することに挑戦しました。当時、制服に不便を感じる生徒がおり、生徒会内でもルールは時代に応じて見直すべきだと考えました。そこで在校生の意見をまとめて議論を重ねたことで、先生方も考えてくださり校則改定に至りました。この経験を通じて、私は「社会のルールである法律もまた、変えることでより多くの人を救えるのではないか」と考えるようになりました。法律を学び社会に貢献したいと考え、法学部法律学科を志望しました。大学では、三田で培った「主体性」を活かし法律を学びながら、公正な社会の実現を目指して、より多くの人々が生きやすい環境を作ること尽力したいです。

多くの努力を誇りに思えるようになった 背中を押してくれた友人と挑戦する勇気をくれた場所

Stanford University / V・Sさん (2025年3月卒業)

三田には、生徒の「やってみよう」「学びたい」を自由に相談できる環境があります。多様な授業の実施、自分を変える機会の提供、一歩を踏み出す勇気を育ててくれる教育も、三田の魅力です。私の転機は学園祭でのTEDトークでした。校内のポスターを見て挑戦したいと思いつつも、今までのように周りの目が怖くてためらってしまっていました。しかし、そんな私の背中を押してくれた友人のおかげで、自分の人生と結びつけたスピーチをすることができ、大きな挑戦と成長のきっかけとなりました。今では、未熟ながらも「なりたい自分」に近づくために様々な努力を重ねたことを、誇りに思えるようになりました。挑戦を応援してくれた友人と、支えてくれる環境のおかげで今の私があると、強く感じています。3か国に住んだ経験から、国によって法律や価値観の違いを実感したため、今後は大学で公共政策を学び、国際機関や人権団体でインターンを経験して、人権に関する国際法をより深く理解したいと思っています。





ACTIVITIES 課外活動



英語部で体験した 挑戦と成長の旅

英語部 ディベート / 高校2年 Y・Kさん

人前で話すことへの苦手意識を克服したいという思いから英語部に入部しました。練習を重ねることで話すスキルが向上し、むしろ今は自分を表現する喜びを感じています。英語部の魅力は、上下関係でも壁を感じさせない温かい雰囲気です。大会で強豪校のディベーターたちと切磋琢磨することで、自分の成長を肌で実感でき、部全体の士気の向上にも貢献できるようになりました。今強く思うことは「挑戦することと仲間の力を信じることの大切さ」です。仲間とともに大きな壁を乗り越える方法を探すことは、必ず新しい可能性を切り拓く力になると思います。これから英語部に足を踏み入れるみなさんには、挑戦と成長の旅をぜひ体験してほしいです。



諦めずに話し合った日々が 忘れられない大切な思い出

女子バスケットボール部
キャプテン / 高校3年 U・Mさん



私が入部した頃は新型コロナウイルス感染症が蔓延しており、仲間と思うようにコミュニケーションが取れませんでした。練習や大会の機会が少なく、部員のモチベーションを保つことに苦労しましたが、何か問題があるたびに時間を見つけてミーティングを開き、お互い納得のいくまで話し合いをすることで、徐々にチームの状況が改善していきました。声を掛け合い励まし合うことで練習に熱が入り、チーム一丸となり目標に向かう力が湧いてきました。この5年間は楽しいことばかりではなく苦しいことも多々ありましたが、仲間と支え合えたからこそ乗り越えることができました。目標に向かって切磋琢磨した日々は、私にとって忘れられない大切な思い出です。

部活動一覧・加入率・活動日数

加入率：中高合わせて約90%
活動日数：原則、週1~3日

*文化部は基本的に中高合同で活動しますが、運動部は部活動により異なります。

運動部

サッカー / 新体操 / 硬式テニス / ラグビー(高校) / バスケットボール / バドミントン / バレーボール / ポップダンス / 軟式野球 / 卓球 / 陸上競技

文化部

囲碁・将棋・チェス / 演劇 / English / コーラス / コンピュータ / サイエンス / 吹奏楽 / 鉄道研究 / 華道 / 茶道 / 箏曲 / 美術

*上記は2025年度時点のものであり、今後変更する可能性があります。

表彰実績 (2024年度までの抜粋)

■ポップダンス部

- 第17回日本高校ダンス部選手権 東京都大会 ビッグクラス スリーポード特別賞
- 第12回日本中学校ダンス部選手権 全国決勝大会出場

■吹奏楽部

- 第64回東京都高等学校吹奏楽コンクール 東日本組 金賞
- 第58回 東京都中学生アンサンブルコンテスト 金賞

■バスケットボール部

- 2024年度 東京私立中学高等学校協会 第8支部 女子バスケットボール大会 中学の部 優勝

■陸上競技部

- 第67回東京都私立中学高等学校陸上競技選手権大会 中学女子総合優勝
- 令和5年度 全国高等学校総合体育大会 男子110mハードル 第4位

■英語部

- 第14回日本高校生パラメンタリーディベート連盟杯 東京都大会 1st Place Award

■コーラス部

- 第91回NHK全国学校音楽コンクール 東京都コンクール 中学校の部 フリー部門 奨励賞

■個人・有志団体

- 第10回高校生国際シンポジウム 物理学・システム工学分野 ポスター部門 優秀賞
- 第130回日本解剖学会総会・全国学術集会、第102回日本生理学会大会、第98回日本薬理学会年会 合同大会 最優秀賞・優秀賞
- 第57回国際化学オリンピック アラブ首長国連邦大会 日本代表
- App Design Contest 2024 グランプリ
- 西東京市民映画祭 2024 第20回自主制作映画コンペティション 学生賞
- 第47回東京都高等学校文化祭 放送部門 ビデオドラマ部門 第3位・制作奨励賞
- 第72回東京都統計グラフコンクール 東京私立中学高等学校協会会長賞・入選
- 第13回角川つばさ文庫小説賞 こども部門 準グランプリ
- 第74回全日本学生書道展 旺文社賞
- QUEST CUP 2024全国大会 進路探究部門「ロールモデル」 準グランプリ
- 日本言語学オリンピック 2024 入賞
- 高校生ボランティア・アワード 2023 テツ and トモ賞
- 帝京大学 高校生プログラミングコンテスト 2023 優良賞
- 自由すぎる研究®EXPO2023 てトナル賞
- 2023年度 SDGs QUEST みらい甲子園 アクションアイデア優秀賞

MSTC(メディカルサイエンステクノロジークラス・コース)の実績は p.28へ

テクノロジーを使って学校生活を豊かに

有志団体「シャオリンズテッククラブ」代表 | 高校3年 K・Sさん

有志団体



Q1. 現在の活動を教えてください。

現在の活動は主に2つの柱があります。1つ目は、テクノロジーを使って学校生活にまつわる問題を解決し不便を改善する活動です。電子チケットやオリジナルAI作成のほかに、現在はカフェテリアの食券をデジタル化して、スマホからモバイルオーダーができるようなシステムを作っています。2つ目は、プログラミング未経験の生徒にPythonを教えるという活動です。

Q2. 学園祭でのオリジナルAIの企画はどのようなことをやりましたか？

三田国際オリジナルAI「DEVI」という、学校についての質問をしたら何でも音声で答えてくれるAIを作る企画でした。どういう学校行事が人気なのか、学校生活をどういう風に過ごしているのかなど、生徒目線の生の情報を、学園祭に来校してくれた方にお届けできればいいなと思いました。

Q3. オリジナルAIと電子チケットは、それぞれどのように作ったのですか？

AIは、東北大学のAI研究室の方が無料で公開していたAIの言語モデルがあったので、それをベースに僕たちが集めた情報を使ってファインチューニングをしました。電子チケットに関しては、最初に作ったプロトタイプを1年ほどかけて色々な行事でテストすることで、最終的に最後の学園祭で電子チケットを導入することができました。テストなどを含めたら2年くらいかかりましたね。紙チケットでの不便を解消しようと思い導入したシステムだったので「楽になった」というお声をいただいて嬉しかったです。システムのエラーもなく、大成功だったと思っています。

Q4. 体験を通してぶつかった課題と成長したところはありますか？

成長した部分も課題もすごく似ていますが、一人で何か大きなプロジェクトをやることの限界を感じました。始めたばかりの頃、情報を集めたり、情報をAIで使えるように処理したりなど、沢山の作業を全部一人でやらなければいけなかったので、一人で大きなプロジェクトをやることの大変さを感じました。

Q5. 今後の目標を教えてください。

今後の目標として、全国にある学校での生活をより便利により豊かにするために、プログラミングを活用して課題を解決するという活動を広めたいです。我々が実践した学園祭チケットの二次元コード化やカフェテリアのモバイルオーダーなどの活動が参考になるかと思っています。個人の目標としては、この活動を自分の代で終わらせずに、後輩たちに引き継いでいってほしいなと思っています。



ANNUAL EVENTS

年間行事

今という瞬間を全身で表現する

年間を通して行われる行事では、クラスや学年を超えて実行委員会が設置され、生徒主体で運営を行います。

日頃の授業だけでなく、年間行事でも12のコンピテンシーを意識し育みます。多様なバックグラウンドを持つ仲間とともに

一つのことを成し遂げる経験は、生徒を大きく成長させ、その先の社会を生きていく大きな力となります。

時間割	
	中学 高校
8:30 ~ 8:45	朝学習・SHR
8:50 ~ 9:40	1 時間目
9:50 ~ 10:40	2 時間目
10:50 ~ 11:40	3 時間目
11:50 ~ 12:40	昼休み 4 時間目
12:45 ~ 13:35	4 時間目 昼休み
13:45 ~ 14:35	5 時間目
14:45 ~ 15:35	6 時間目
15:40 ~ 15:50	SHR
16:00 ~	清掃
18:00	完全下校

*土曜日は4時間目まで授業があります。午後の授業はありません。
土曜日の4時間目は中高とも11:50~12:40で、そのあと清掃を行います。



昼休みの過ごし方

カフェテリアは中学生から利用できます。中学生と高校生の昼休みの時間がずれているため、6学年が一度に集まる心配はありません。昼食は、カフェテリアで購入するほか、昇降口での軽食やパンの販売もあります。また、お弁当を持参し、カフェテリアや教室、中庭で食べる生徒も多くいます。

	4 APR.	5 MAY	6 JUNE	7 JULY	8 AUG.	9 SEP.	10 OCT.	11 NOV.	12 DEC.	1 JAN.	2 FEB.	3 MAR.	
学校行事	<ul style="list-style-type: none"> 入学式 始業式 オリエンテーション合宿(中1) 	<ul style="list-style-type: none"> 開校記念日(5月1日) Career Training Camp(高1) 	<ul style="list-style-type: none"> 授業公開 Sports Festival(体育祭) 生徒総会 	<ul style="list-style-type: none"> 終業式 高校 MSTC 海外研修 		<ul style="list-style-type: none"> 始業式 Social Link Trigger(宿泊研修・中2) Social Link Action(宿泊研修・中3) 		<ul style="list-style-type: none"> MITA International Festival(学園祭) 	<ul style="list-style-type: none"> 高校 ISC 海外研修 	<ul style="list-style-type: none"> 終業式 Presentation Day 高校 IC 海外研修 	<ul style="list-style-type: none"> 始業式 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒会選挙 音楽会 	<ul style="list-style-type: none"> 卒業式 修了式
学習		<ul style="list-style-type: none"> 中間試験 		<ul style="list-style-type: none"> 期末試験 夏期講習(前期) Summer Study Camp(高3) 	<ul style="list-style-type: none"> 夏期講習(後期) 		<ul style="list-style-type: none"> 中間試験 		<ul style="list-style-type: none"> 期末試験 冬期講習 			<ul style="list-style-type: none"> 学年末試験 Spring Study Camp(高2) 	

*上記は2025年度のプログラムの予定であり、今後、時期・内容などは変更する場合があります。

PICK UP

MITA International Festival (学園祭)

学園が一体となって「発想の自由人」を体現する一大イベント。プレゼンテーションやポスターセッションによる研究・探究成果の発表、音楽やダンスや演劇などのパフォーマンス、学年有志団体が企画する参加型ワークショップなど、生徒が多様なアイデアを出し主体的に運営を行います。



より良い学校生活を過ごすために…

① アンケートツールの活用・個人面談の実施

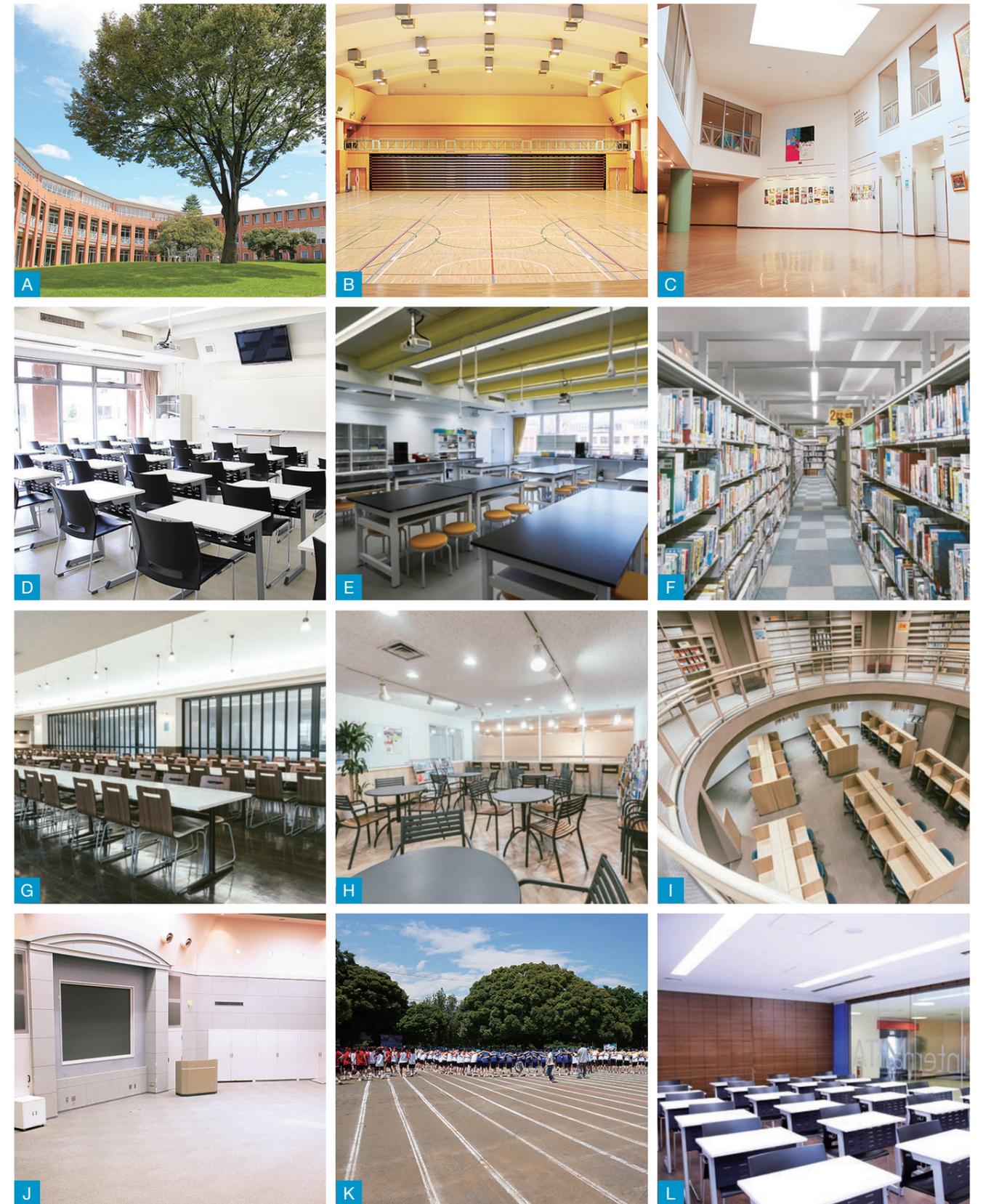
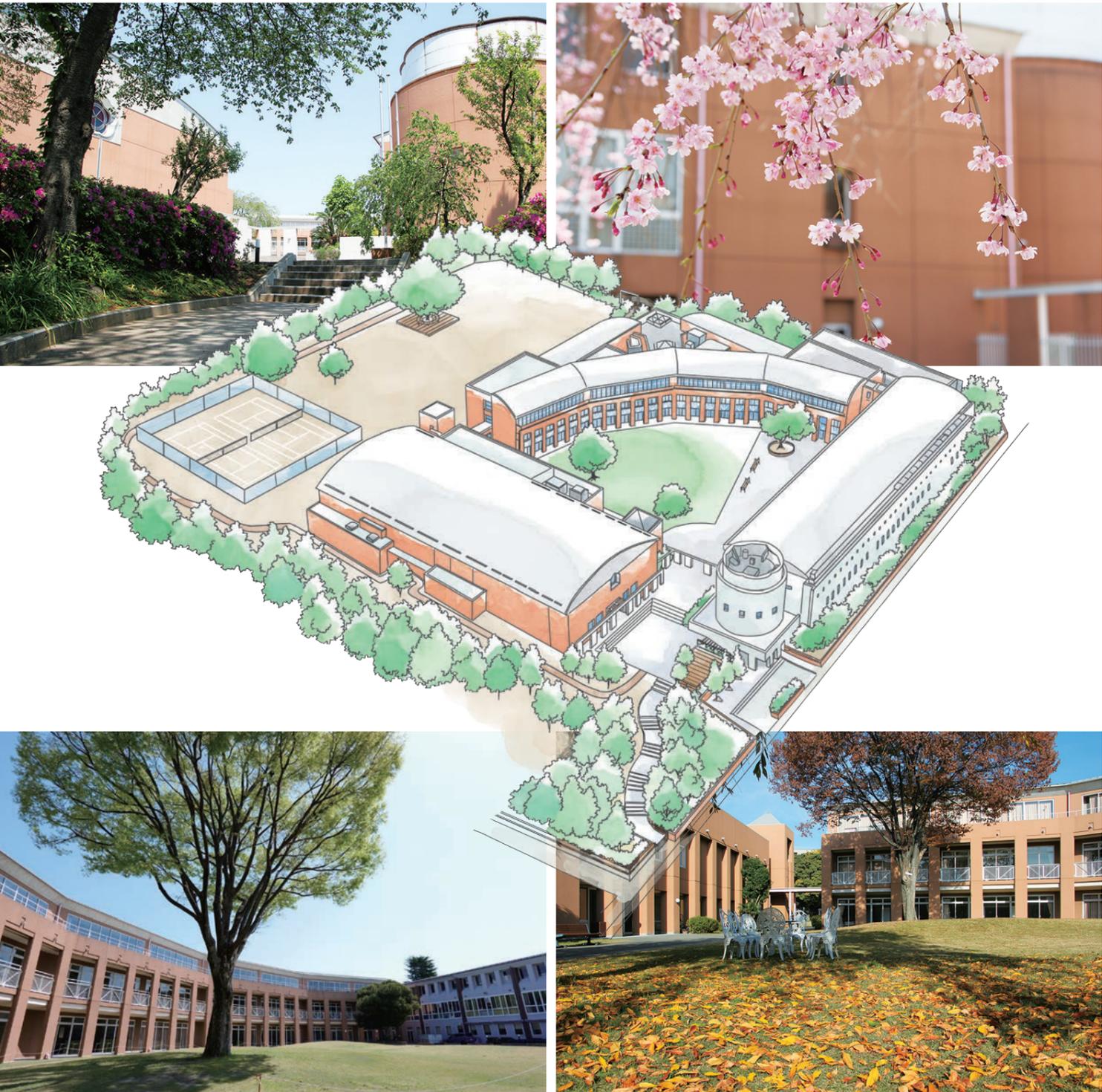
学期ごとに学校生活における満足度や個々の状況などについてアンケート調査を行い、当事者以外にも何か気になる些細なことを相談できる機会を作っています。生徒の気質や心の状態を把握し、担任・学年・教科担当が常に情報を共有し、協力を体制を整えています。また、最低でも学期に1度は個人面談の場を設けています。

② 常勤カウンセラーによるケア

カウンセリングルームには常勤カウンセラーがおり、個人カウンセリングを受けることが可能です。また、保護者の方からの相談も受け付けています。利用時間 9:30 ~ 18:00 (週2日は17:00まで)

FACILITIES

施設・環境



- A** パティオ (中庭) **B** メインホール **C** ギャラリースペース
- D** ホームルーム すべての教室にホワイトボードとプロジェクターを設置。ICTを活用した授業を展開できます。
- E** サイエンスラボ **F** 図書室 蔵書約4万冊を誇り、電子書籍や洋書も充実しています。静かに読書や学習ができるスペースも用意されています。
- G** カフェテリア **H** Communicative Space **I** 自習室 **J** 視聴覚室 **K** グラウンド **L** 多目的室

❗ セキュリティと緊急時の対応

生徒の登下校時には正門に警備員を配置し、各出入口には防犯カメラを設置しています。また、災害時には校内で3日間過ごせるように、寝袋・毛布等のほか生徒全員分の個人用防災備蓄品を完備しています。緊急時の保護者の方や生徒への連絡、災害や天候による休校のお知らせなどは、学校連絡網アプリを通じて連絡いたします。

MESSAGE FROM THE PRINCIPAL

学園長からのメッセージ

発想の自由人たれ



今、目の前にいる生徒とどのように向かい合っていくか。それを考えることが教育の原点であると思います。今日の課題をしっかりと理解できるようにすることは、もちろん大切です。同時に、社会に出て活躍している姿をイメージすることも必要だと思います。いささか気の長い話かもしれませんが、そうすることで必要な資質が浮かび上がり、なすべき教育がはっきりしてくるのです。

三田国際科学学園の生徒には、日々の学びを通して、持続可能な社会を作っていく一員であることを理解し、将来その貢献者として認められるようになってもらいたいと考えています。この願いこそが、本校の目指す世界標準の教育の出発点です。

本校に入学したすべての生徒が、いつの日か、「今の実力は中学・高校時代を通して身につけた」と胸を張って言えるように。学び考えた日々が、人生における得難い貴重な時間であったと振り返ってもらえるように。生徒にはずっと言い続けていきます。

——三田国際科学学園生よ、発想の自由人たれ

三田国際科学学園学園長

大橋清貴

HISTORY

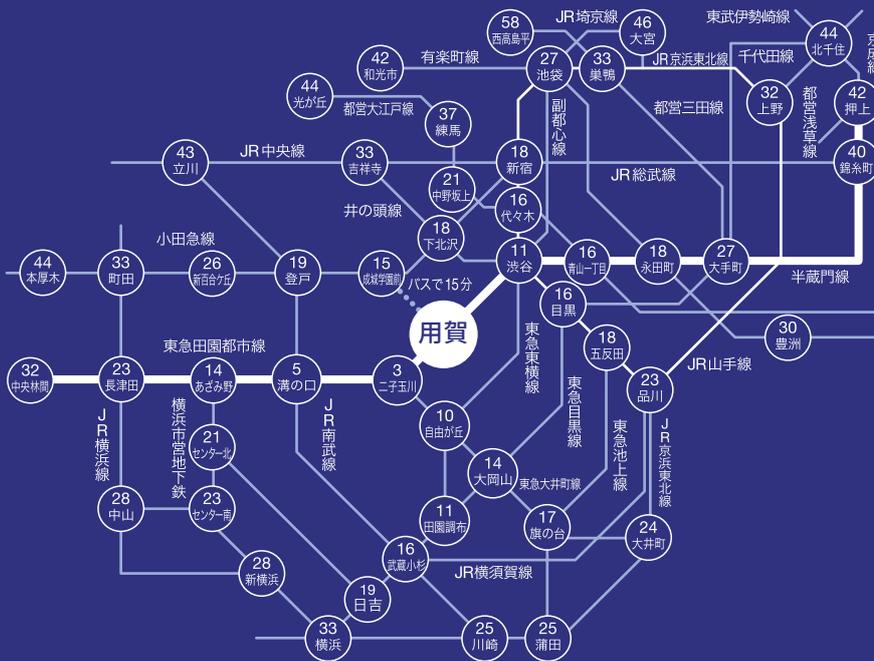
沿革

明治35(1902)年、戸板関子先生が現在の芝公園の一角に「戸板裁縫学校」を開校しました。これが学校法人戸板学園の前身です。この学校は生徒の裁縫に対する高い識見と画期的な指導形態・技術によって急激に生徒数を増やし、それに伴って、現在戸板女子短期大学のある港区芝二丁目に移転。やがて大正5(1916)年に「戸板裁縫学校」に併設して、中・高部の前身である「三田高等女学校」(昭和12年に戸板高等女学校に校名変更)が開校されました。三田の地には、私たちの教育のルーツがあり、その志が今も脈々と受け継がれています。

- 1902 (明治35) 戸板関子により芝公園の一角に戸板裁縫学校を創立
- 1904 (明治37) 三田四国町へ移転
(現在 学校法人戸板学園本部の所在地)
- 1916 (大正5) 三田高等女学校を創設
- 1937 (昭和12) 三田高等女学校から戸板高等女学校に改称
- 1946 (昭和21) 戸板裁縫学校を戸板女子専門学校に昇格
- 1947 (昭和22) 新制度により戸板中学校を発足
- 1948 (昭和23) 戸板女子高等学校を発足
- 1950 (昭和25) 戸板女子短期大学を発足
- 1993 (平成5) 中・高部は世田谷区用賀へ移転
(現在 三田国際学園校舎の所在地)
- 2012 (平成24) 戸板学園創立110周年
- 2015 (平成27) 「三田国際学園中学校」「三田国際学園高等学校」と改称し、共学化をスタート
- 2025 (令和7) 「三田国際科学学園中学校」「三田国際科学学園高等学校」と改称



学校へのアクセス



バス：小田急線「成城学園前」駅より東急バス2番のりば「用賀駅」または「等々力操車所」利用「用賀」下車徒歩3分
 ＊田園都市線の急行は、「用賀」駅には停まりません。＊丸囲みの通学時間には乗り換え時間は含みません。

用賀駅からのアクセス



三田国際科学学園中学校
 三田国際科学学園高等学校